

## VIII 文化財保護

### 1 有形文化財

#### (1) 建造物

##### ①大宜味村役場旧庁舎 建造物保存修理（耐震診断）事業（大宜味村）

事業目的：重要文化財 大宜味村役場旧庁舎保存修理に向けた耐震診断事業

	令和3年度実績額（千円）	令和4年度実績額（千円）
所有者負担（村所有）	—	854
県補助額	—	318
国庫補助額	—	4,686
合計	—	5,858

##### ②建造物琉球漆喰・琉球赤瓦製作施工文化財保存技術（伝承）団体事業

事業目的：建造物塗装や赤瓦製造、瓦葺き技術の伝承者養成事業及び研修事業

	令和3年度実績額（千円）	令和4年度実績額（千円）
実施団体負担額	89	100
県補助額	—	—
国庫補助額	7,587	8,552
合計	7,676	8,652

##### ③重伝建 竹富町竹富島 伝統的建造物群基盤強化事業（竹富町）

事業目的：竹富島重要伝統的建造物群保存地区内の建造物保存修理

	令和3年度実績額（千円）	令和4年度実績額（千円）
所有者負担額	—	—
町補助額	3,597	4,009
県補助額	1,199	1,335
国庫補助額	19,185	21,376
合計	23,981	26,720

##### ④重伝建 渡名喜村渡名喜島 伝統的建造物群基盤強化事業（渡名喜村）

事業目的：渡名喜島重要伝統的建造物群保存地区内の建造物保存修理

	令和3年度実績額（千円）	令和4年度実績額（千円）
所有者負担額	—	—
村補助額	—	1,229
県補助額	—	328
国庫補助額	—	5,249
合計	—	6,806

⑤令和4年度 旧首里城守礼門柱脚修繕工事

事業目的：県指定文化財 守礼門柱脚の修繕

	令和3年度実績額（千円）	令和4年度実績額（千円）
所有者負担額（県所有）	—	3,823
県補助額	—	—
国庫補助額	—	—
合計	—	3,823

### (3)銃砲刀剣類の登録

#### ①沖縄県銃砲刀剣類登録審査委員

\*沖縄県教育委員会委嘱(令和4年11月10日から令和6年11月10日)  
大嶺 信義(刀剣研究家)、上原 正人(刀剣研究家)、兼濱 昇(刀工)

#### ②登録審査会

【登録審査会（新規登録及び現物確認審査）】

日 時:第1回 令和4年12月23日(金) 10:00~16:45

第2回 令和5年1月27日(金) 9:00~14:30

場 所:沖縄県立埋蔵文化財センター(2階 会議室・研修室)

審査件数:第1回 12件(内訳:刀8、脇差3、たち1)

第2回 12件(内訳:刀4、脇差8)

登録証交付件数:第1回(新規登録:4件、再交付:2件)

第2回(新規登録:11件)

#### ③新規登録申請件数及び登録件数

区 分	種 別	申請件数	登録件数	備 考
刀 剣	た ち	4	4	
	刀	12	9	
	わきざし	14	14	
	短 刀	3	3	
	や り	0	0	
	なぎなた	2	2	
古式銃砲	火 縄 銃	0	0	
	その他の古式	0	0	
合 計		35	32	

#### ④証紙出納実績

	審査件数	登録審査手数料	出納実績	備 考
審査手数料(新規登録)	25	6,300円/件	157,500円	
審査手数料(再交付)	8	3,500円/件	28,000円	
制作承認手数料	0	800円/件	0円	
合 計			185,500円	

#### ⑤登録を受けた銃砲刀剣類の譲り受け・貸付け・登録証再交付などの届出件数

種 別	銃砲類	刀剣類	計
譲り受け	0	16	16
相 続	0	2	2
貸 付 け	0	0	0
保管の委託	0	0	0
登録証再交付	0	8	8
合 計	0	26	26

## 2. 無形文化財

### (1) 芸 能 (伝承者養成事業)

#### ① 重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者養成事業

事業総額：9,040千円（国8,825千円、県107千円、保存会199千円）

実施内容：国補助による琉球舞踊保存会直営事業（会長：宮城能鳳）

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

研 修 会：期日、内容等は下記のとおり。

研修趣旨：琉球舞踊の古典舞踊と雑踊について、それぞれの師匠の技を再現し、確認することで、琉球舞踊に伝えられる技について演目ごとに理解を深める。

保持者を中心に現在の実演家たちが師事した師匠の技を再現し、流派を越えて学習することを旨とする。

内 容：古典女踊「作田」と雑踊「浜千鳥」について、各系統ごとに先達のわざを再現し、技術研修の成果を発表する。発表会を2日間開催した。

琉球舞踊の古典七踊の研修

ア 系統の整理（琉球王国時代の御冠船踊りの芸統をひく7人の先達を基に整理）

現在の琉球舞踊保持者を中心に整理すると下記のとおり。 ※ 下線部は物故者

玉城盛重

- ①玉城盛義：玉城節子、玉城秀子、谷田嘉子、金城美枝子、又吉静枝
- ②島袋光裕：島袋光晴、佐藤太圭子
- ③親泊興照：二代目親泊興照
- ④宮城能造：宮城能鳳
- ⑤真境名佳子：宮城幸子、喜納幸子
- ⑥真境名由康：真境名直子（2013年逝去のため、真境名結子と協議）

嵩原安詩

- ⑦比嘉清子：大城政子
- ⑧田島清郷：志田房子

伝承者を中心に整理すると下記のとおり。

新垣松含

⑨比嘉澄子 比嘉早苗

渡嘉敷守良

⑩児玉清子 二代目児玉清子・由利子 金城光子 二代目渡嘉敷守良

読谷山親雲上

⑪金武良章 安座間澄子 安座間明美

川平親雲上

⑫阿波連本啓 阿波連蘭子

屋我良勝

⑬山田貞子 山内小夜 山内喜美枝

※宮城能造：二代目宮城能造

田代タカ子：宮城美能留：宮城早苗・園美

玉城盛義：宇根伸三郎

イ 研修方法

古典七踊りについては、現在の琉球舞踊保持者の技の源流である玉城盛重と嵩原安詩について、8（上記の①～⑧）グループに分ける。琉球舞踊保持者に担い手がいない読谷山親雲上、新垣松含、屋我良勝、川平親雲上、渡嘉敷守良の5人の師匠の技について5（⑨～⑬）に分けて研修を実施する。

実技研修に重きをおき、各分野より選ばれた選抜研修生（約82名）と、一般研修生（約244名）にわける。

選抜研修生には選抜研修および12月の成果発表会への出演を課す。選抜研修は稽古着だが、成果発表会は衣装着用・拵えあり。

その他の一般研修は、10月の技能発表会にて保持者の前で課題演目の演舞を行う（稽古着・拵えなし）。

ウ 課題演目

令和4年度は、古典舞踊「作田」・雑踊「浜千鳥」

エ 研修回数

令和4年度は以下の3回の研修を行う。

a 選抜研修（6月11日・12日）※選抜者

b 技能発表会（10月15日・16日） ※全伝承者対象（選抜者をのぞく）

c 成果発表会（12月10日・11日） ※出演は選抜者

※衣装、化粧、道具等についても師からの教えを再現する。

#### オ 研修報告

a 選抜研修（6月11日・12日 会場：てだこホール（小ホール）（浦添市））

令和4年度の選抜者（85人※当初）を対象とした研修。全体を15グループにわけ、グループごとによる演舞を行う。各自にて稽古ののち、この選抜研修にて全保持者の前で演舞を披露し、指導を受ける。衣裳は舞踊・地謡ともに稽古着で、拵えは行わない。本研修時も伝承者は舞踊・地謡ともに全員マスク着用、保持者は今年度から全日程参加に戻した。

b 技能発表会（令和4年10月15・16日 会場：てだこホール（小ホール）（浦添市））

令和4年度の選抜者以外（244人）を対象とした研修。全体を16グループにわけ、グループごとによる演舞を行う。各自にて稽古ののち、この技能発表会にて全保持者の前で演舞を披露し、指導を受ける。衣裳は舞踊・地謡ともに稽古着で、拵えは行わない。本研修時も伝承者は舞踊・地謡ともに全員マスク着用、保持者も全日程参加に戻した。

c 成果発表会（令和4年12月10・11日 会場：国立劇場おきな小劇場（浦添市））

本年度の選抜者（発表時82名）による成果発表会。衣裳・拵えをするも、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年同様に無観客開催（非公開）とした。有識者による講座も中止になった。また、本年度からリハーサルを本番と同日実施とし、参加者の負担軽減を図った。

※全研修において、感染症対策として、昨年度までは沖縄島在住者のみで研修を行っていたが、本年度から県外・離島在住者も、PCR検査陰性結果を提出すれば参加可とした。

#### 一出演者名簿 課題 「作田」「浜千鳥」

○印が地謡リーダー ※太鼓は「浜千鳥」のみ出演

1日目選抜研修：6月11日（土）成果発表会：12月10日（土）

①舞踊：（玉城流扇寿会）大浜多津江・米須千恵・東文子

地謡：（歌三線）（安富祖流絃聲会①）○竹田祐規・和田信一・與那原良治・仲嶺良盛（箏）宮里秀明（笛）大城建太郎（胡弓）新垣博史（太鼓）横目大通

②舞踊：（真踊流）真境名由佳子・大田文代・我那覇明子・島袋彩乃

地謡：（歌三線）（安富祖流絃聲会①）○竹田祐規・和田信一・與那原良治・仲嶺良盛（箏）宮里秀明（笛）大城建太郎（胡弓）新垣博史（太鼓）横目大通

③舞踊：（玉城琉華豊の会）谷田嘉子・金城美枝子（監修）神谷三千代・照屋正江・上原きみ子

地謡：（歌三線）（安富祖流絃聲会②）○横目大哉・大城貴幸・平良大・横山太陽（箏）大城礼乃（笛）大城建太郎（胡弓）新垣博文（太鼓）横目大通

④舞踊：（親泊本流親扇会）新城園美

地謡：（歌三線）（安富祖流絃聲会②）○横目大哉・大城貴幸・平良大・横山太陽（箏）大城礼乃（笛）大城建太郎（胡弓）新垣博文（太鼓）横目大通

⑤舞踊：（大城流寿乃会）横目ちはる

地謡：（歌三線）（野村流保存会①）○島袋奈美・小畑香代恵・新垣恵・山崎麻里緒（箏）玉城奈美恵（笛）清村まり子（胡弓）吉田由紀（太鼓）與那覇徹

⑥舞踊：（島袋本琉紫の会）下地智子・上原なつき

地謡：（歌三線）（野村流保存会①）○島袋奈美・小畑香代恵・新垣恵・山崎麻里緒（箏）玉城奈美恵（笛）清村まり子（胡弓）吉田由紀（太鼓）與那覇徹

⑦舞踊：（重踊流）井口三恵子・前田恵

地謡：（歌三線）（野村流保存会②）○玉城悟・大城聖・友寄雅仁・棚原健太（箏）田港あゆみ（笛）清村まり子（胡弓）吉田由紀（太鼓）與那覇徹

⑧舞踊：（宮城流）嘉数道彦（宮城元琉）宇座仁一

地謡：（歌三線）（野村流保存会②）○玉城悟・大城聖・友寄雅仁・棚原健太（箏）田港あゆみ（笛）清村まり子（胡弓）吉田由紀（太鼓）與那覇徹

2日目選抜研修：6月12日（日）成果発表会：12月11日（日）

⑨舞踊：（玉城流翔節界）平田弘子・大城美由紀・金城貴子（玉城流いざみ会）具志幸大

地謡：（歌三線）（野村流伝統音楽協会①）○座波洋平・山田圭佑・金城守明・知念一成（箏）大城智史（笛）桶川美晴（胡弓）森田夏子（太鼓）福原敬

⑩舞踊：（監修）玉城節子（松舎会）山入端直美（玉城流煌扇会）新垣麻里子

地謡：（歌三線）（野村流伝統音楽協会①）○座波洋平・山田圭佑・金城守明・知念一成（箏）大城智史（笛）桶川美晴（胡弓）森田夏子（太鼓）福原敬

- ⑪舞踊：（監修）又吉静枝（柳清本流）二代目比嘉清子（安座間本流）山城亜矢乃  
地謡：（歌三線）（野村流伝統音楽協会②）○幸地あや・仲本亜寿香・中村優希  
（箏）仲松恒子（笛）桶川美晴（胡弓）森田夏子（太鼓）福原敬
- ⑫舞踊：（朱日流）宮城由紀子  
地謡：（歌三線）（野村流伝統音楽協会②）○幸地あや・仲本亜寿香・中村優希  
（箏）仲松恒子（笛）桶川美晴（胡弓）森田夏子（太鼓）福原敬
- ⑬舞踊：（島袋流千尋会）上原智子（にぬふあぬ会）平良律司子  
（監修）島袋君子（宗家眞境名本流眞薫会）仲真あけみ  
地謡：（歌三線）（野村流音楽協会①）○眞榮田徹也・名城一幸・知念勝三  
（箏）外間己乃（笛）真地利尚（胡弓）照屋早月（太鼓）大嶋章
- ⑭舞踊：（太圭流）仲本久乃  
地謡：（歌三線）（野村流音楽協会②）○渡口裕・喜納吏一・比嘉啓太・真喜志拵  
（箏）前田さやか（笛）真地利尚（胡弓）照屋早月（太鼓）大嶋章
- ⑮舞踊：（宮城本流鳳乃會）宮城能香  
地謡：（歌三線）（野村流音楽協会②）○渡口裕・喜納吏一・比嘉啓太・真喜志拵  
（箏）前田さやか（笛）真地利尚（胡弓）照屋早月（太鼓）大嶋章

## ②選定保存技術「組踊道具・衣裳製作修理」伝承者養成事業

事業総額：7,203千円（国7,000千円、県100千円、保存会103千円）

実施方法：国・県補助による組踊道具・衣裳製作修理保存会直営事業

事業主体：組踊道具・衣裳製作修理技術保存会

事業期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

場 所：各技術者の工房

事業内容：道具・衣裳製作修理は、沖縄の伝統芸能である「組踊」で使用される各種の道具と、各役柄に応じた伝統的な衣裳を製作し、修理する技術であり、国の重要無形文化財「組踊」の保存に欠くことはできない。

- 1 道具：組踊道具の製作をした。技術者4名で、伝承者8名を指導した。  
合計477回の研修を行った。
  - (1) 講 師：金城裕幸 平田智之 上原じゅん子 新垣孝
  - (2) 伝承者：佐渡山也子 金城小百合 宮城優子 城間貞光  
平田恵乃 江洲のぶ子 比嘉建秀 眞眞嗣幸
- 2 衣裳：組踊衣裳の製作をした。技術者2名で、伝承者1名を指導した。  
合計36回の研修を行った。
  - (1) 講 師：嘉手納タケ子
  - (2) 伝承者：満名苗子
- 3 技能・技術の錬磨：作品・素材・技術（舞台公演を含む）を見学し、それぞれの知識を高め、作品・技術に反映させた。

## ③重要無形文化財「組踊」伝承者養成事業

事業総額：12,040千円（国11,773千円、県132千円、保存会135千円）

実施方法：国補助による一般社団法人伝統組踊保存会直営事業

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

研 修 会：期日、内容等は下記のとおり。

研修の目的：伝承者に実技研修と教養講座（座学）を実施し技芸のさらなる向上を図る。  
保持者は、伝承者の技量向上に資するように指導に努める。

- 基本方針：1 実技指導は、当会会員である保持者が行う。座学講座については、外部講師の招聘も考慮する。
- 2 立方、地謡に色々な役柄を与え、将来の指導者としての資質・能力を養うように指導する。
  - 3 補助事業における伝承者は、20～30代の若手と中堅層をもって編成する。  
今年度は、伝承者55名（立方22名、地謡33名）を対象に実施する。
  - 4 指導計画を策定し、日々の研修・稽古を重視して技能向上を最重点に置く。
  - 5 座学講座、実技研修の成果の確認は成果発表会を実施して行う。

研修内容：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染症対策を講じた内容に計画変更した。

- 1 実技研修
  - (1) 実技研修演目は、朝薫の五番（「護佐丸敵討」「執心鐘入」「女物狂」「銘

- 苧子」「孝行の巻」)と「手水の縁」「万歳敵討」「花売の縁」「雪払い(眞境名本)」「賢母三遷之巻」。
- (2) ①講習、②講習各15回の研修内容について、保持者による実技指導DVD(3枚)を作成。伝承者へ配布し、視聴レポートを提出させた。
- (①講習「女物狂」、②講習「万歳敵討」各DVD3枚)
- 講習DVD1: 演目全般の講話  
 講習DVD2: (安富祖流)演目全般の講話、立方のセリフや所作の心得、地謡の演奏上の心得  
 講習DVD3: (野村流)演目全般の講話、立方のセリフや所作の心得、地謡の演奏上の心得
- 2 座学: 講師による座学講座のDVDを全6回(6枚)作成し、伝承者へ配布・視聴レポートを提出。
- 3 成果発表会: 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

**④県指定無形文化財「琉球歌劇」伝承者養成事業**

事業総額: 2,118千円(県648千円、保存会1,470千円)  
 実施方法: 県補助による琉球歌劇保存会直営事業(会長:高宮城実人)  
 事業内容: 伝承者研修を実施し研修成果発表会を開催した。東京にて歌舞伎研修を実施した。  
 事業期間: 令和4年9月14日(水)~令和5年2月10日(月)  
 研修期間: 令和4年9月28日(水)~令和5年1月22日(日)  
 場 所: 浦添市産業振興センター・結の街 国立劇場おきなわ 国立劇場(東京)ほか  
 研 修 会: 座学2回、実技指導6回 研修成果発表会、歌舞伎研修  
 座学講話者: 仲程昌徳、平良敏  
 実技指導(保持者): 瀬名波孝子、嘉数好子、平良進、宮里良子、高宮城実人、宮城武碩、上江洲由孝  
 参加者(伝承者): 知念亜希、新垣勝夫、安次嶺正美、高井賢太郎、山内昌太、伊禮門綾、上間朝子、伊藝武士、金城光子、玉城敦子、仲吉茜、宇座仁一、福島千枝、知花小百合、西村悦子、平田晴香、大城由紀子、嘉陽田早苗、島袋浩大、棚原健太、山里進、村上佳子、知念勝三、大城幸雄、金城清徳、仲本亜寿香、上江洲静香、上原和哲、池間北斗、桶川美晴、具志美詩乃、金城裕幸

**⑤県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」伝承者養成事業**

事業総額: 307千円(県100千円、保存会207千円)  
 実施方法: 県補助による沖縄伝統音楽野村流保存会直営事業(会長:山田義夫)  
 事業内容: 野村流の正しい継承と発展及び芸能文化の向上を図ることを目的とし、会員(保持者、伝承者)を対象に大昔節や昔節の歌三線を中心に研修会を実施した。  
 事業期間: 令和4年7月1日~令和4年10月17日

(1) 研修会

回	開催日時	開催場所	人数	研修内容
1	8/20(土) 13:30~15:00	西原町 社会福祉 センター	41人	①かぎやで風節(口上あり)・ご縁節・こてい節②茶屋節・すき節③本田名節・真福地之はいちやう節・揚高禰久節④作田節之踊⑤天川節乃踊⑥高平良萬歳之踊
2	" 15:30~17:00		35人	
3	9/17(日) 13:30~15:00		36人	
4	" 15:30~17:00		40人	

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため三密を避け、伝承者を4つのグループに分けて実施。

- (2) 指導者: 金城タケ子、山城暁、金城幸浩、仲宗根盛次、上間克美、銘苧盛隆、宮城竹茂、佐久田朝雄

**⑥県指定無形文化財「沖縄伝統音楽安富祖流」伝承者養成事業**

事業総額: 288千円(県95千円、保存会193千円)  
 実施方法: 県補助による沖縄伝統音楽安富祖流保存会直営事業(会長:西江喜春)  
 事業内容: 年間事業計画により伝承者養成事業を毎月1回開催し、保持者が指導を行っている。研修会は10回開催した。また文化的知識を深め資質の向上を図る目的に講師を招聘し、特別講演会を1回実施した。  
 事業期間: 令和4年6月26日~令和5年3月31日  
 (1) 研修会 毎月1回 第4日曜日 午前10時~正午

(2) 特別講演会（保持者・伝承者研修）

- ① 日 時：令和4年 10月 23日（日） 午前11時～正午
- ② 講 師：崎原綾乃 氏（琉球大学附属図書館情報サービス課保存公関係）
- ③ 講話内容：「私の研究から見た三線」
- ④ 場 所：真玉橋公民館 1F

(3) 指導者：西江喜春、玉城正治、濱元盛爾、照喜名進

回	開催日	内容・開催場所
1	6/26(日)	6月定例研修会(真玉橋公民館1F) 芸能コンクール課題曲
2	7/24(日)	7月定例研修会(真玉橋公民館1F) 芸能コンクール課題曲
3	8/28(日)	8月定例研修会(真玉橋公民館1F) かぎやで風節・恩納節・長伊平屋節・中城はんた前節・こてい節・今風節・昔蝶節をビデオ鑑賞し先達の手様、節入り等を確認する。
4	9/25(日)	9月定例研修会(真玉橋公民館 1F) かぎやで風節・恩納節・長伊平屋節・中城はんた前節・こてい節・昔節・大昔節より
5	10/23(日)	10月定例研修会(真玉橋公民館1F) 特別講演会(真玉橋公民館1F) 講師:崎原綾乃 氏(琉球大学附属図書館情報サービス課保存公関係) 講話内容:「湛水親方の生涯とその時代の芸能の情報」
6	11/27(日)	11月定例研修会(真玉橋公民館 1F) かぎやで風節・恩納節・長伊平屋節・中城はんた前節・こてい節・昔節・大昔節より
7	12/25(日)	12月定例研修会(真玉橋公民館1F) かぎやで風節・恩納節・長伊平屋節・中城はんた前節・こてい節・首里節・茶屋節をビデオ鑑賞し先達の手様、節入り等を確認する。
8	令和5年 1/22(日)	1月定例研修会(真玉橋公民館1F) 令和4年度 師範・教師課題曲(師範:茶屋節 教師:首里節)
9	2/26(日)	2月定例研修会(真玉橋公民館 1F) 令和4年度 師範・教師課題曲(師範:今風節(仲間節) 教師:作田節(干瀬節)
10	3/26(日)	3月定例研修会(真玉橋公民館 1F) 保持者による指導及び研修総括

⑦県指定無形文化財「沖縄伝統音楽箏曲」伝承者養成事業

事業総額：300 千円（県 100 千円、保存会 200 千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽箏曲保存会直営事業（会長：宮城光子）

事業内容：保持者の指導により研修会を実施した。

事業期間：令和4年6月15日～令和5年3月31日 完了

研修会：第1回 令和4年 7月 9日（土） 78名参加

第2回 令和4年 12月 18日（日） 40名参加

第3回 令和5年 2月 12日（日） 39名参加

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため3グループに分けて実施。

場 所：国立劇場おきなわ 大稽古室

指 導 者：宮城光子、赤嶺和子、崎山文子、比嘉淳江、玉城弥生、上地尚子、赤嶺弘子

⑧県指定無形文化財「沖縄伝統音楽湛水流」伝承者養成事業

事業総額：57 千円（県 28 千円、保存会 29 千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽湛水流保存会直営事業（会長：渡久山春憲）

事業内容：保持者の指導により研修会を実施した。

事業期間：令和4年12月1日～令和5年3月31日 完了

(1) 湛水流伝統保存会系、琉球古典音楽湛水流保存会系

日時：令和5年2月12日（日）10:00～11:30 場所：国立劇場おきなわ 大稽古室

講師（保持者）：上里平三、島袋英治、渡久山春憲、渡慶次哲三、濱里長希、

高江洲昌和、城間盛秋、宮城康明、山内昌也

受講生（伝承者）：21名



(2) 琉球古典音楽湛水流保存会系

日時：令和5年3月26日(日) 10:00～11:30 場所：沖縄市農民研修センター大研修室  
講師(保持者)：渡慶次哲三、城間盛秋、濱里長希、高江洲昌和、山内昌也  
受講生(伝承者)：9名

(3) 湛水流伝統保存会系、琉球古典音楽湛水流保存会系

日時：令和5年3月30日(木) 18:30～20:00 場所：首里公民館  
講師(保持者)：上里平三、渡久山春憲、宮城康明  
受講生(伝承者)：7名

## (2) 芸能(組踊等普及啓発事業)

### ① 児童生徒の組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会・・・県単独事業

事業総額：1,836千円(執行済額1,829千円)

趣旨：児童生徒に郷土芸能への理解と関心を深めさせ、組踊等沖縄伝統芸能の県内への普及啓発を図るとともに、若手実演家の活動機会を増やすことによって、後継者の育成を図る。

実施方法：沖縄県教育委員会が、丸正印刷株式会社に事業委託

実演団体：女流組踊研究会 めばな、ステージサポート沖縄

事業内容：ワークショップ(組踊・沖縄芝居)の実施

鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり

#### ア 組踊ワークショップ実施校(参加人数)

##### ① 糸満市立真壁小学校(小5・6:54人)

日時：令和4年9月30日(金) 10:35～12:15

場所：学校体育館

立 方：金城佳子、伊佐幸子、玉城知世、高里風花

地 謡：大城貴幸(歌三線・箏)、和田信一(歌三線・笛)、瀬良垣幸男(太鼓)

##### ② 名護市立大宮中学校(中3:113人)

日時：令和4年10月26日(水) 10:30～12:20

場所：学校体育館

立 方：金城佳子、喜名彩華、高里風花、仲嶺夕理彩

地 謡：大城貴幸(歌三線・箏)、和田信一(歌三線・笛)、瀬良垣幸男(太鼓)

#### イ 沖縄芝居ワークショップ実施校(参加人数)

##### ① 那覇市立真和志中学校(中1:96人)

日時：令和4年9月14日(水) 13:30～15:20

場所：学校体育館

立 方：伊良波さゆき、仲嶺夕理彩、砂川博仁

地 謡：棚原健太(歌三線)、堀川裕貴(太鼓)、奥平由衣(箏)、  
金城真次(胡弓)

### (3) 工芸技術

#### ① 重要無形文化財の伝承者養成事業

##### ア) 重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」伝承者養成事業

事業総額：7,588千円（国 7,000千円、県 294千円、村 293千円、保存会 1千円）

実施方法：国・県・大宜味村補助による保存会直営事業

事業主体：喜如嘉の芭蕉布保存会（会長：平良美恵子）

事業内容：

##### (1) 伝承者養成事業

① 技能保持者7名と修了生4名が講師を務め、受講生9名を対象に個々人の熟練度に応じた技術指導を実施した。

1) 芯止め・葉打ち、2) 苧倒し・苧炊き・苧引き、3) 苧績み、4) 緋結び・染色、5) 撚り掛け、6) 整経、7) 製織、8) 洗濯、9) 畑清掃

講 師：宮城糸美、山城雪枝、宮城涼子、辺土名加代子、大城絹恵、金城悟、當眞廣子  
平良美恵子

伝 承 者：神谷美香、吉田木綿、座喜味ゆり香、加藤泉、平良清美、山城薫、孔智賢  
金城武治、平良雅志

事業期間：令和4年5月25日～令和5年3月31日

場 所：大宜味村立芭蕉布会館

② 良質の糸芭蕉を確保するため、芭蕉畑除草の委託を行った。

##### (2) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

##### イ) 重要無形文化財「宮古上布」伝承者養成事業

事業総額：8,535千円（国 8,000千円、県 267千円、市 251千円、保持団体 17千円）

実施方法：国・県・宮古島市補助による保持団体直営事業

事業主体：宮古上布保持団体（代表者：新里玲子）

事業内容：

##### (1) 伝承者養成事業

図案・手括り（講師1名、伝承者4名）、染色（講師1名、伝承者2名）、織り-1（講師1名、伝承者1名）、織り-2（講師1名、伝承者1名）、織り-3（講師1名、伝承者1名）、の3部門において講習を実施した。

講 師：下地達雄（図案・手括り）、平良清子（染色）、島袋朝子（織り）

伝 承 者：久貝偉久恵（研修回数20回）、与那嶺ひとみ（152回）、高良恵（128回）、小祿有美子（119回）（以上、図案・手括り）

與那嶺ひとみ（95回）、高良恵（94回）（以上、染め）、平良享子（263回）、松尾由樹（36回）、荷川取ひろみ（56回）（以上、織り）

実施期間：令和4年4月1日～令和5年3月24日

場 所：講師工房／下地達雄工房、平良清子工房、平良享子工房、荷川取ひろみ工房  
宮古市伝統工芸品センター、

##### (2) 原材料・用具の確保事業

糸巻き機1点、12ヨミ糸綜統、14ヨミ糸綜統を実施した。

##### (3) 関連技術事業

経糸講座にて苧麻績み講座を開講した（講師1名、受講者5名）

##### (4) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

##### ウ) 重要無形文化財「久米島紬」伝承者養成事業

事業総額：8,226千円（国 8,000千円、県 113千円、町 54千円、保持団体 59千円）

実施方法：国・県・久米島町補助による保持団体直営事業

事業主体：久米島紬保持団体（代表者：桃原積子）

事業内容：

##### (1) 伝承者養成事業

1 養蚕、絹糸作り、糸つむぎ、真綿作り、図案作成、染色の伝承者養成講座（事業）を実施した。

- 2 養蚕は、5名の講師で伝承者及び桑の葉の取り方から上族まで毎日5～6回の桑の葉の与え方や、上族の時期等の講習を行った。
- 3 絹糸作り、糸つむぎ、真綿作りは、各5名の講師で伝承者にケンネル（座繰り機）等での糸作り、真綿からの糸ひき、撚糸機の撚りかけ方等の講習を行った。
- 4 図案作成は、5名の講師で伝承者に講習を行い、染色は、9名の講師で泥染め技術の講習を行った。
- 5 資料収集整理事業として、資料調査データを収集し、パソコン等で整理を行った。
- 6 技術研究事業として、古い久米島紬の調査を行い、技術研究を行った。
- 7 原材料・用具の確保事業として、養蚕に必要な桑畑の管理を行った。
- 8 講師：イ) 養蚕：①我那覇ケイ子、②桃原積子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子  
ロ) 絹糸作り：①我那覇ケイ子、②桃原積子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子  
ハ) 真綿作り：①我那覇ケイ子、②桃原積子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子  
ニ) 糸つむぎ：①我那覇ケイ子、②桃原積子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子  
ホ) 図案：①桃原積子  
ヘ) 染色：①我那覇ケイ子、②桃原積子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子、⑥山城宗太郎、⑦宇江城ヤス子、⑧宮平登美子、⑨新垣勝秀
- 9 伝承者：①平田とき子、②山城智子、③古堅ヨシエ、④神里智江、⑤儀間勝枝、⑥佐久田康子、⑦仲地洋子、⑧毛利玲子
- 10 事業期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日
- 11 場所：久米島紬の里ユイマール館
- (2) 原材料・用具の確保  
養蚕に必要な桑畑の管理委託を行った。
- (3) その他  
文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

## ② 選定保存技術の伝承者養成事業

### ア) 選定保存技術「苧麻糸手績み」伝承者養成事業

事業総額：10,280千円（国10,000千円、県140千円、保存会140千円）

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業主体：宮古苧麻糸手績み保存会（会長：漢那明美）

事業期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

場所：宮古島市、多良間村の各講師宅および公民館等

事業内容：

#### (1) 伝承者養成事業

①初級講習として、宮古上布の原料となる苧麻の収穫から、整経までの5工程を18教場（平良11、下地2、上野3、伊良部1、多良間1）において講師各18名、研修生のべ56名で実施した。研修の内容は以下の通り。

1) 苧麻刈り取りおよび苧麻引き、2) 苧麻裂き、3) 苧麻績み、4) 撚りかけ、5) かし掛け

②中級講習として、初級講習修了生等を対象により高度で実践的な技術の指導を9回行った。受講者は3名であった。

③自由に参加できるぶーんみ講座を15回開催し、講習修了者の継続や研修生候補発掘の場を設けた。受講者は、のべ30名であった。

#### (2) 研修発表事業

宮古島市歴史文化資料館にて、研修成果発表として第13回苧麻糸展示会を開催した。

#### (3) 記録の作成及び刊行事業

記録集の編集委員会において、各編集委員が編目ごとに作成した原稿案をもとに記録集全体の仕上がりに向け検討を行った。

#### (4) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施し、補助事業の各項目について事務調整等を行った。

### イ) 選定保存技術「手機製作」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：1,625千円（国1,106千円、県135千円、保持者384千円）

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：大城義政（保持者）

事業内容：手織製作は、手織り用の木製の機（織機）を製作する技術であり、染織品の工芸技術を支える重要な用具製作技術である。長期間乾燥させた木材を使用し、各部材を製材・整形し、組み立てる。この一連の工程には、木材に関する深い知識・加工技術が必要であり、さらに織機の構造・機能、手織（織物）技術に対する理解と知識が要求される。本年度は、手織製作にかかる工程を伝承者1名に伝授した。

伝承者：大城伸悟

事業期間：令和4年4月1日～令和5年3月25日

場所：大城織機製作所

#### ウ) 選定保存技術「琉球藍」伝承者養成事業

事業総額：6,425千円（国6,000千円、町400千円、保存会25千円）

実施方法：国・町・保存会直営事業

事業主体：琉球藍製造技術保存会（会長：高原安彦）

事業期間：令和4年4月1日～令和5年3月25日

事業内容：

##### (1) 伝承者養成事業

① 5月下旬～7月初旬は製藍技術の研修を行い、1月から植え付け準備を始め、2月～3月にかけて植え付け作業を行った。その他の時期は灌水・除草・施肥等の肥培管理作業に従事したが、秋の収穫を行わない製造所は9月頃に植え付け準備を行い、10月後半から11月にかけて藍草の植え付けを行った。

② 場所 講師の各工房

③ 講師 仲西利夫・伊野波盛昭・真栄城興茂・比嘉良松・荒木瑞江・上間守

④ 伝承者 坂田伸治・澤野孝・森洋治

##### (2) 研修事業

久米島紬事業協同組合や町内の染織作業場を見学し交流を図った。

##### (3) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

#### エ) 選定保存技術「建造物琉球漆塗・琉球赤瓦製作施工文化財保存技術」伝承者養成事業

事業総額：8,652千円（国8,552千円、保存会100千円）

実施方法：国補助による保存会直営事業

事業主体：一般財団法人 沖縄美ら島財団

事業期間：令和4年4月1日～5年3月31日

場所：那覇市、与那原町、八重瀬町、沖縄美ら島財団（那覇事務所）、八幡瓦工場、西建設事務所

事業内容：伝承者養成事業は漆による外壁塗装、瓦製作と瓦漆喰施工の3つに分けて行った。

##### (1) 3分野 共通講義

i 講義1：沖縄の建築と技術

ii 講義2：琉球王国文化遺産集積・再興事業について

iii 講義3：文化財概論と保存修理概論

iv 講義4：首里城正殿復元事業について

##### (2) 漆による外壁塗装

i 講義1：漆器の文化保存修復について

ii 講義2：色彩文化財の修復について

iii 講義3：建造物塗装基礎 一日光の伝統的建築における塗装について—

iv 実習1：髹漆実習（工程手板製作実習）—ニービを使った下地塗りなど琉球髹漆行程—

v 実習2：建造物色彩【桐油色彩】—桐油を用いた彩色実習・纏綯彩色—

vi 実習3：建造物塗装基礎 一日光の伝統的建築における塗装について—

vii 見学：保存修理現場見学 —藤井漆工藝株式会社・日光東照宮—

##### (3) 瓦製作・瓦漆喰施工 共通講義

i 講義1：沖縄の瓦の歴史

ii 講義2：伝統瓦基礎 —日本の瓦葺きの基礎及び琉球赤瓦の独自性について—

iii 講義3：瓦の材料・製作 —赤瓦の製作に関する基礎知識—

##### (4) 瓦製作

i 実習1：赤瓦伝統製作技術【前期】—赤瓦の伝統的製作技術（成形まで）—

ii 実習2：赤瓦伝統製作技術【後期】—赤瓦の伝統的製作技術（焼成まで）—

iii 見学：保存修理現場見学 —日本伝統瓦技術保存会・山本瓦工業・元興寺・東大寺—

(5) 瓦漆喰施工

- i 実習 1 : 赤瓦葺き基礎一瓦選別、墨出し等瓦葺き一
- ii 実習 2 : 赤瓦漆喰塗基礎【下塗り】一節塗、腹塗等漆喰塗一
- iii 実習 3 : 赤瓦漆喰塗上級編【上塗り】一軒の仕上げ塗等の上級者用塗一
- iv 見 学 : 保存修理現場見学 一日本伝統瓦技術保存会・山本瓦工業・元興寺・東大寺一

③ 沖縄県指定無形文化財の伝承者養成事業

ア) 県指定無形文化財「びん型」伝承者養成事業

事業総額 : 426 千円 (県 320 千円、保存会 106 千円)

実施方法 : 県補助による保存会直営事業

事業主体 : 沖縄伝統びん型保存会 (代表 : 城間榮順)

事業内容 : 本年度は、古びん型から学ぶことをテーマに、型紙を使用して染めるびん型を伝統技法に基づきながら、創作柄の帯を染めた。

- ① 開講式(保持者とその伝承者が参加して、事業の趣旨を十分に理解した)
- ② 古典柄を参考に下絵を作成した。
- ③ 染地型紙・白地型紙を彫った。
- ④ 彫った型紙を使用して型を置き、色差しをした後、模様を糊で伏せ(ビンウシー)地染めを行った。
- ⑤ 閉講式(作品についての講評等)

講 師 : 城間榮順、知念積元

伝 承 者 : 石嶺一美、竹中亜沙美、知念積文

事業期間 : 令和 4 年 11 月 5 日～令和 5 年 3 月 25 日

場 所 : 保持者工房

イ) 県指定無形文化財「本場首里の織物」伝承者養成事業

事業総額 : 345 千円 (県 259 千円、保存会 86 千円)

実施方法 : 県補助による保存会直営事業

事業主体 : 沖縄伝統本場首里織物保存会 (代表 : 祝嶺恭子)

事業内容 : 「手織」全工程 (意匠設計~製織) の技術指導を実施した。各工程については次のとおりである。

- (1) 意匠設計 (2) 糸精練 (3) 経糸染色 (4) 経糸糊付け (5) 経糸繰返し
- (6) 整経 (7) 仮箆通し (8) 経巻き (9) 綜統通し (10) 箆通し
- (11) 織付け (12) 緯緋小総上げ (13) 緯緋括り (14) 緯糸染色
- (15) 緯糸小管巻き (16) 製織 (17) 整理仕上げ

講 師 : 祝嶺恭子

伝 承 者 : 野里愛子、比嘉麻南

事業期間 : 令和 4 年 9 月 1 日～令和 4 年 12 月 28 日

場 所 : 保持者工房

ウ) 県指定無形文化財「八重山上布」伝承者養成事業

事業総額 : 426 千円 (県 320 千円、市 60 千円、保存会 46 千円)

実施方法 : 県・市補助による保存会直営事業

事業主体 : 八重山上布保存会 (代表 : 新垣幸子)

事業内容 : 今年度は、3 か所の工房で補助事業を実施した。中村澄子の工房では、捺染による着尺の指導を行った。

新垣幸子の工房では、琉球王国時代に作成された御絵図を基に、現代の着物としての美の表現に取り組んだ。着尺の図案作成と経緋括り、発色、機乗せの準備までを行った。良質な苧麻栽培のための畑を替え、植え付けや移植等を行い、今年度は 3 回収穫をした。また、八重山藍の栽培と色素取り出しのため、石灰の適量確立等を行った。

松竹喜生子の工房では、着尺の付け下げ用の準備・綜統通しから機乗せ調整、織り工程までを行った。緋模様が小さいため、経緯糸のずれや経緯糸切れ等の調整に時間を要し、織り上げるまで指導を行った。

講 師 : 中村澄子、新垣幸子、糸数江美子、平良蓉子、松竹喜生子

伝 承 者 : 中村雪江、崎原克友、松竹未来

事業期間 : 令和 4 年 9 月 1 日～令和 5 年 1 月 31 日

場 所 : 各保持者工房

### 3. 民俗文化財

#### (1) 民俗文化財

##### ① ウイピヤームトゥ保存修理事業

事業総額：1,936,000円（県581,000円、宮古島市1,355,000円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：宮古島市

事業期間：令和4年10月5日から令和5年3月30日

事業目的：県指定有形民俗文化財「ウイピヤームトゥの祭場」3棟は、現在でも集落の祭祀に利用されている。平成30年度の台風により茅葺き屋根がき損している状態であったため、3棟のうち、クスウイピヤームトゥの小屋組をチャージで組み、茅葺き屋根の葺き替えを行い、台風対策のために防風ネットを敷設した。

##### ② 第64回九州地区民俗芸能大会（国庫補助事業）

事業総額：5,781,206円（国2,890,000円、県2,891,206円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：第64回九州地区民俗芸能大会実行委員会（福岡県教育委員会、佐賀県、長崎県教育委員会、熊本県教育委員会、大分県教育委員会、宮崎県教育委員会、鹿児島県教育委員会、沖縄県教育委員会、浦添市、浦添市教育委員会）

事業目的：九州・沖縄地区に伝承されている民俗芸能について、伝承活動を行っている個人・団体に対して発表の機会を提供し、その継承の意欲の維持向上に資するとともに、広く一般の人々に公開しその鑑賞をとおして民俗芸能への理解と認識を深め、無形民俗文化財の保存と振興を図り、併せて上演芸能の記録を作成する。

大会名称：第64回九州地区民俗芸能大会

開催期日：令和4年11月13日（日）

開催場所：アイム・ユニバーズてだこホール（浦添市）

派遣芸能：九州各県から1団体、開催県（沖縄県）から2団体

事務局：沖縄県教育庁文化財課

##### ③ 第64回九州地区民俗芸能大会（県単独補助事業）

事業総額：本県開催かつ近隣市町村からの派遣団体であったため支出なし

事業種別：県単独補助事業

事業主体：前田棒保存会（浦添市）、津覇伝統芸能保存会（中城村）

大会名称：第64回九州地区民俗芸能大会

開催期日：令和4年11月13日（日）

開催場所：アイム・ユニバーズてだこホール（浦添市）

派遣芸能：① 前田の棒

前田の「棒つかい」は「メーダボウ（前田棒）」と称され、数え15歳から35歳までの男子全員と選ばれた指導者である棒頭たちによって演じられ、前田では「棒つかい」のできない者は男にあらずと言われるくらい、先輩たちから厳しい指導を受けて伝承されてきた。また、身体が不自由で「棒つかい」に参加できない人たちも「チャフカサー（茶湧かきー）」といって茶の接待役として協力した。

「前田の棒」は、独特なリズムのドラ鐘と指笛によって演じられ、演武によって多種の棒や琉球古武術で使われる武器「サイ」を扱うのが特徴。演舞者は、頭に鉢巻き、足には白黒の脚絆、空手着をまとって勇壮活発に演じる。

戦後、「棒つかい」「村芝居」とも行われなくなる中で「前田の棒」の保存と継承をめざし、昭和51年に「前田棒保存会」が結成されました。その後、昭和56年3月2日に浦添市の無形民俗文化財に指定され、現在は毎年綱曳き、地域行事等で演武が行われている。

## ② 津覇の獅子舞

津覇の獅子舞の由来については定かではないが、津覇の集落が形成されたあと、西暦1600年頃に集落の厄払いと繁栄、五穀豊穡を祈願する行事として伝えられたと考えられており、津覇集落の行事として毎年旧暦の一月二日【初興し（ハチウクシー）】・八月十六日【旧盆】・九月十五日【十五夜】に集落の拝所である「火の神殿内（ヒヌカンドウンチ）」で五穀豊穡・子孫繁栄・無病息災を祈願してミチジュネー（路巡り）と奉納演舞が行われ、集落の守り神として威厳に満ちた姿が親しまれている。

津覇の獅子舞は、柔らかく愛くるしい所作を主体とした雌の舞いと、力強く勇壮な雄の舞いを一頭の獅子で演じ分けるのが特徴で、また沖縄の獅子舞は「ワクヤー」と呼ばれる先導役と対で演じられているが、この曲と舞いも雌と雄とで異なっており、獅子とワクヤーともに舞手には雌雄を演じ分ける技能と表現力が求められる。特に雄の舞いは、歯を噛み鳴らして睨み、跳躍し、そして後ろ脚で立ち上がるなど荒々しく激しい動きである。

なお、津覇の獅子舞は平成9年3月に中城村の無形民俗文化財に指定されている。

### 出演演目：オープニングアトラクション

	出演団体
1	鼓衆若太陽（沖縄県浦添市）

### 出演演目

	芸 能 名	出演団体
1	御岳神楽	御岳神楽（大分県）
2	前田の棒	前田棒保存会（沖縄県浦添市）
3	脇野の大念仏	脇野の大念仏保存会（佐賀県）
4	宇美神楽	宇美神楽座（福岡県）
5	平戸のジャンガラ	平戸自安和楽保存会（長崎県）
6	大人神楽	大人神楽保存会（宮崎県）
7	井之川夏目踊り	井之川夏目おどり保存会（鹿児島県）
8	東方組太鼓踊り	東方組太鼓踊り保存会（熊本県）
9	津覇の獅子舞	津覇伝統芸能保存会（沖縄県中城村）

※ 九州各県から1団体、開催地（沖縄県）は2団体

## 4. 記念物

### (1) 史跡・名勝・文化的景観

本県における国指定の史跡・名勝（特別名勝を含む）、国登録の登録記念物、国選定の文化的景観、県指定の史跡・名勝の件数は合計 130 件（令和 5 年 5 月 1 日現在）である。令和 4 年 6 月 17 日には北谷町の史跡「北谷城跡」が追加指定の答申を受け令和 4 年 11 月 10 日に官報告示となった。今後も貴重な文化財の適切な保存・活用を図るために、指定等文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県指定文化財を中心に進めている。令和 4 年度は史跡の「フルスト原遺跡」及び「中城城跡」で史跡等保存活用計画策定事業を実施した。

「白保竿根田原洞穴遺跡」は保存活用計画策定書を刊行した。歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業は、史跡「中城城跡」、「勝連城跡」、「浦添城跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「具志川城跡」、「伊礼原遺跡」、「内間御殿」、「北大東島燐鉱山遺跡」、「先島諸島火番盛」、「宇江城城跡（災害復旧）」、「斎場御嶽」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」「中城ハンタ道」、「円覚寺跡」、「知念城跡」、「糸数城跡」及び名勝「伊江殿内庭園」、「アマミクヌムイ（越来グスク）」で実施したが、このうち史跡「知念城跡」、「中城ハンタ道」は事業を令和 5 年度に繰り越しをした。なお、事業を令和 4 年度に繰り越しを実施した史跡「勝連城跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「伊礼原遺跡」は事業を完了した。文化的景観保護推進事業は、重要文化的景観「北大東島の燐鉱山由来の文化的景観」は事業を実施し、このうち事業を令和 4 年度に繰り越した「今帰仁村今泊のフクギ屋敷林と集落景観」は事業を完了した。史跡等買上事業は、史跡「佐敷城跡」、「山田城跡」、及び「下田原城跡」で直接買上を実施した。その他、県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」では保存修理事業を、県指定史跡「ミントングスク」では管理事業を実施した。

#### ①国庫補助事業

##### ア) 史跡等保存活用計画策定事業

###### a) 事業名：史跡「フルスト原遺跡」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体：石垣市

事業経費：4,277,559 円（国 3,422,000 円、県 0 円、市 855,559 円）

事業内容：○令和 4 年度は 3 回の会議を実施し、保存活用計画書を刊行した。

###### ◇フルスト原遺跡保存活用計画策定委員会

1) 令和 4 年 11 月 25 日（石垣市役所会議室）：会議を実施した。

2) 令和 5 年 1 月 24 日（石垣市役所会議室）：会議を実施した。

3) 令和 5 年 3 月 3 日（石垣市役所会議室）：会議を実施した。

###### b) 事業名：史跡「中城城跡」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体：中城村

事業経費：2,496,146 円（国 1,996,000 円、県 0 円、市 500,146 円）

事業内容：○令和 4 年度は 1 回の会議を実施し、中間報告書を取りまとめた。

###### ◇中城城跡保存活用計画策定委員会

1) 令和 5 年 3 月 3 日（中城村護佐丸歴史資料図書館 3 階会議室）：会議を実施した。

※令和 5 年 1 月 25 日（沖縄県庁）：文化庁調査官と事前協議を実施。

###### c) 事業名：史跡「白保竿根田原洞穴遺跡」史跡等保存活用計画策定事業（繰越）

事業主体：沖縄県

事業経費：7,390,519 円（国 5,912,000 円、県 1,478,519 円）

事業内容：○令和 3 年度は 2 回の会議を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業を繰り越し、令和 4 年度に会議を 2 回実施し、保存活用計画書を刊行した。

###### ◇白保竿根田原洞穴遺跡保存計画策定委員会

令和 3 年度

1) 令和 3 年 7 月 20 日 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、書面会議を開催した。

2) 令和 4 年 3 月 16 日（石垣市八重山合同庁舎）：現地確認、及び会議を実施した。

令和 4 年度

1) 令和 4 年 8 月 29 日（八重瀬町指定史跡港川遺跡）：先進事例調査を実施した。

令和 4 年 8 月 30 日（沖縄県南部合同庁舎）：会議を実施した。



2) 令和5年2月13日(石垣市八重山合同庁舎): 現地確認、及び会議を実施した。

イ) 歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業

a) 事業名: 史跡「中城城跡」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業

事業主体: 中城村

事業経費: 36,331,180円(国29,064,000円、県864,000円、村6,403,180円)

事業内容: ○南の郭北側城壁沿い転石撤去及び遺構検出作業を刊行実施した。

○令和4年度整備工事の城壁石積解体時の平面図、立面図の測量(約40㎡)を実施した。

○中城城跡発掘調査報告書の発刊に向けた遺物集計、遺物実測、電子トレース、編集等の各種作業を行った。

○過去の発掘調査で出土した武器や角釘などの金属製品45点の保存処理を行った。

○一の郭北西隅城壁の石材変位が著しかったので、令和4年度は、前年度に解体及びした同城壁の石積み直し(約47㎡)を実施した。工事に係る設計・監理は委託で実施した。

◇中城城跡整備委員会

1) 令和4年9月16日(中城城跡2階会議室、中城城跡)

2) 令和4年11月28日(中北消防本部2階会議室)

b) 事業名: 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業

事業主体: 今帰仁村

事業経費: 12,924,167円(国10,339,000円、県305,000円、村2,280,167円)

事業内容: ○志慶真門郭城壁内の遺構確認の調査を支援業務委託で実施した。

○志慶真門郭城壁修理工事に係る施工監理を委託で実施した。

○志慶真門郭城壁修理工事を実施した。

○今帰仁城跡内でドローン等を活用した現況地形測量を実施した。

◇今帰仁城跡附シイナ城跡調査研究整備委員会

1) 令和5年3月1日(今帰仁村歴史文化センター)

c) 事業名: 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業(災害復旧)

事業主体: 今帰仁村

事業経費: 21,003,000円(国17,852,000円、県0円、村3,151,000円)

事業内容: ○平成30年度に崩落した主郭東側城壁の修理工事を請負で実施した。

○修理工事に伴う調査や監理を委託で実施した。

d) 事業名: 史跡「伊礼原遺跡」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業

事業主体: 北谷町

事業経費: 35,735,700円(国28,588,000円、県849,000円、町6,298,700円)

事業内容: ○令和4年度は縄文の海地区の一部及び森地区の一部において、海岸の植生を復元し、工事請負に伴う施工監理を実施した。

○縄文の海(砂丘区)において復元住居実施設計を実施し、復元住居整備委員会を2回開催した。

◇伊礼原遺跡復元住居整備委員会

1) 令和4年11月15日(北谷町役場3階 庁議室)

2) 令和5年3月16日(北谷町役場3階 庁議室)

e) 事業名: 名勝「伊江殿内庭園」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業

事業主体: 那覇市

事業経費: 6,136,068円(国4,908,000円、県146,000円、市1,082,068円)

事業内容: ○庭園内の主な園路(A~C)のうち、園路Bの石敷及び背後の石階段の修復を行った。

○庭園内の景観維持及び遺構保護のための樹木撤去工事を実施した。

○主庭部内で未測量となっていた部分の測量・図化業務を委託した。

◇伊江殿内庭園整備委員会

1) 令和5年1月23日(伊江殿内庭園、首里公民館2階会議室)

f) 事業名: 史跡「内間御殿」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業

事業主体: 西原町

事業経費：11,287,430円（国9,029,000円、県268,000円、町1,990,430円）

事業内容：○東江御殿の石牆北側の上段部(8.4㎡：天端3.7㎡、外周面：2.8㎡、内周面1.9㎡)に部分的にズレや孕み、石の欠損等が確認されていることから、復旧・復元の目的に解体工事を実施した。

○東江御殿の石牆保存修理（解体）工事に伴い、1段ごと解体後の写真測量・図化作業と解体石の石垣カルテの作成を実施した。

◇内間御殿整備委員会

1) 令和5年3月1日（西原町立図書館2階集会室、内間御殿）

2) 令和5年3月29日（西原町立図書館2階集会室、内間御殿）

g) 事業名：史跡「北大東島燐鉱山遺跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：北大東村

事業経費：8,930,000円（国7,144,000円、県211,000円、村1,575,000円）

事業内容：○北大東島燐鉱山遺跡貯蔵庫跡立面写真測量及び、燐鉱石貯蔵庫跡倉庫天井き損箇所補修設計、燐鉱石貯蔵跡見学トンネル健全調査を委託で実施した。

◇北大東島燐鉱山遺跡整備委員会

1) 令和4年9月6日（沖縄県青年会館）

2) 令和5年2月21日（北大東村人材交流センター）

h) 事業名：史跡「先島諸島火番盛」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：竹富町

事業経費：37,305,672円（国29,884,000円、県887,000円、町6,574,672円）

事業内容：○竹富町内には19箇所の先島諸島火番盛のうち7箇所が在しており、石積みの崩落の危険性等の問題を抱えていることから整備を行う必要が生じたため、先島諸島火番盛整備基本計画を策定した。

○黒島の宮里集落の南側、宮里海岸の近くにあるプズマリの今後の整備の基礎となる測量を実施した。

○小城盛（竹富島）は道路に面した石積みの孕みが顕著であり、崩落の危険があることから令和4年度は解体工事を実施した。

○コート盛（波照間島）の案内説明板と標識の製作及び設置を工事請負で実施した。

◇先島諸島火番盛整備委員会

1) 令和4年6月3日（竹富公民館、小城盛）

第1回 先島諸島火番盛整備委員会・整備基本策定計画委員会

2) 令和4年8月16日（竹富町役場 2階会議室）

第2回 先島諸島火番盛整備委員会

3) 令和4年11月18日（竹富町役場 2階会議室）

第2回 先島諸島火番盛整備基本策定計画委員会及び町内火番盛視察

4) 令和4年12月9日（竹富町役場 2階会議室）

第3回 先島諸島火番盛整備基本策定計画委員会

5) 令和5年2月27日（竹富町役場 2階会議室）

第4回 先島諸島火番盛整備基本策定計画委員会

※令和4年12月27日（小城盛）：解体工事現場指導

i) 事業名：名勝「アマミクスムイ（越来グスク）」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：沖縄市

事業経費：4,887,788円（国3,910,000円、県116,000円、市861,788円）

事業内容：○アマミクスムイ（越来グスク）整備基本計画を策定した。

◇アマミクスムイ（越来グスク）整備委員会

1) 令和4年8月29日（沖縄市文化センター4階 研修室）

2) 令和4年12月5日（沖縄市文化センター4階 研修室）

3) 令和5年3月7日（沖縄市文化センター4階 研修室）

j) 事業名：史跡「斎場御嶽」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：南城市

事業経費：11,874,710円（県9,499,000円、県282,000円、市2,093,710円）

事業内容：○指定範囲の現況の現況地形測量図を作成した。

○地上に露出している露岩の現状について調査を実施した。

○参道を中心に御嶽内の水の流れや流末についての調査を実施した。

○斎場御嶽内の庇状になっている露岩上部の落石危険防止のため柵の設置を実施した。

◇斎場御嶽整備委員会

1) 令和5年2月9日（南城市役所 2会議室）

k) 事業名：史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：浦添市

事業経費：7,391,180円（国5,912,180円、県175,000円、市1,301,800円）

事業内容：○中頭方西海道及び普天満参詣道整備基本計画を策定した。

○赤皿ガーの実施設計を行った。

◇中頭方西海道及び普天満参詣道整備委員会

1) 令和4年10月14日（浦添市役所会議棟1階102・103会議室）

2) 令和5年1月19日（浦添市役所会議棟1階102・103会議室）

l) 事業名：史跡「円覚寺跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：沖縄県

事業経費：86,547,000円（国69,237,000円、県17,310,000円）

事業内容：○三門本体の1階の斗栱の製作を請負で実施した。

○工事に係る監理を委託で実施した。

◇円覚寺跡三門復元整備委員会

※三門復元整備委員会を実施していない。

m) 事業名：史跡「宇江城城跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業（災害復旧）

事業主体：久米島町

事業経費：5,723,977円（国4,865,000円、県0円、町858,977円）

事業内容：○一の郭城壁解体工事を請負で実施した。

○一の郭城壁解体工事に伴う監理業務を委託で実施した。

◇宇江城城跡整備委員会

1) 令和4年12月（書面開催）

n) 事業名：史跡「浦添城跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業（令和3年度補正繰越）

事業主体：浦添市

事業経費：28,705,647円（国22,964,000円、県671,000円、市5,070,647円）

事業内容：○第Ⅱ整備地区の復元整備を進めるため、発掘支援業務委託を実施した。

○過年度に発掘調査を行った浦添ようどれの出土遺物について、科学分析業務委託を実施した。

○遺物の洗浄や実測、遺物の実測図のトレース等、発掘調査報告書刊行に向けた作業を行った。

◇浦添城跡整備委員会

1) 令和5年1月20日（浦添市役所 議会棟1階102・103会議室、浦添城跡）

o) 事業名：史跡「具志川城跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業（令和3年度補正繰越）

事業主体：久米島町

事業経費：6,289,402円（国5,031,000円、県146,000円、町1,112,402円）

事業内容：○三の郭内の平場において土質調査（ボーリング）を委託で実施した。

◇具志川城跡整備委員会

1) 令和5年2月26日（書面開催）

p) 事業名：史跡「勝連城跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業（令和3年度補正繰越）

事業主体：うるま市

事業経費：31,678,924円（国25,343,000円、県740,000円、市5,595,924円）

事業内容：○東の曲輪から南風原御門の遺構の保存状況の確認のために調査を実施した。

○木製階段や排水管の設置、石積みの復元など旧入城路の路線に沿った導入路の整備を実

施した。

◇勝連城跡整備委員会

- 1) 令和4年6月21日(あまわりパーク、勝連城跡)
  - 2) 令和5年3月9日(あまわりパーク、勝連城跡)
  - 3) 令和5年3月20日(あまわりパーク、勝連城跡)
- q) 事業名: 史跡「糸数城跡」歴史生き活き! 史跡等総合活用整備事業(令和3年度補正繰越)
- 事業主体: 南城市
- 事業経費: 10,625,806円(国8,500,000円、県248,000円、市1,877,805円)
- 事業内容: ○展望台設置設計業務を実施した。  
○整備委員会を2回開催した。

◇糸数城跡整備委員会

- 1) 令和4年9月16日(南城市役所 2階会議室)
  - 2) 令和5年3月7日(南城市役所 2階会議室)
- r) 事業名: 史跡「糸数城跡」歴史生き活き! 史跡等総合活用整備事業  
(令和3年度補正繰越・石垣調査)
- 事業主体: 南城市
- 事業経費: 19,891,780円(国15,913,000円、県472,000円、市3,506,780円)
- 事業内容: ○整備済城壁である南のアザナから北のアザナにかけての石垣悉皆調査を実施した。

ウ) 文化的景観保護推進事業

- a) 事業名: 北大東島の燐鉱山由来の文化的景観保護推進事業
- 事業主体: 北大東村
- 事業経費: 4,056,000円(国3,244,000円、県0円、村812,000円)
- 事業内容: ○整備計画策定委員会を実施し、整備計画書を刊行した。
- ◇北大東島の燐鉱山由来の文化的景観整備計画策定委員会
- 1) 令和4年9月6日(沖縄県青年会館)
  - 2) 令和5年2月21日(北大東村人材交流センター)
- b) 事業名: 今帰仁村今泊のフクギ屋敷林と集落景観保護推進事業(令和3年度事業繰越)
- 事業主体: 今帰仁村
- 事業経費: 5,859,399円(国24,687,000円、県0円、村1,172,399円)
- 事業内容: ○整備計画策定委員会を2回実施した。  
○住民ワークショップ(1回)及びフパルシ会(4回)を実施した。
- ◇今帰仁村今泊のフクギ屋敷林と集落景観整備計画策定委員会
- 1) 令和4年7月29日(今帰仁村歴史文化センター2階 講堂)
  - 2) 令和5年1月31日(今帰仁村歴史文化センター2階 講堂)

エ) 史跡等土地買上事業

- a) 事業名: 史跡「佐敷城跡」史跡等買上(直接買上)事業
- 事業主体: 南城市
- 事業経費: 57,352,357円(国45,881,000円、県0円、市11,471,357円)
- 買上実績: 8,734.04㎡ 13筆
- b) 事業名: 史跡「山田城跡」史跡等買上(直接買上)事業
- 事業主体: 恩納村
- 事業経費: 22,660,792円(国18,128,000円、県0円、村4,532,792円)
- 買上実績: 5,244.0㎡ 7筆
- c) 事業名: 史跡「下田原城跡」史跡等買上(直接買上)事業
- 事業主体: 竹富町
- 事業経費: 7,497,024円(国5,997,000円、県0円、村1,500,024円)
- 買上実績: 18,427.0㎡ 8筆

## ②県補助事業

### ア) 史跡・名勝保存修理事業

事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業

事業主体：那覇市

事業経費：600,000円（県180,000円、市420,000円）

事業内容：○石の欠損や沈下部分を既存の石畳に準ずる工法、材質及び寸法等で保存修理を実施した。

### イ) 管理事業

事業名：県指定史跡「ミントングスク」管理事業

事業主体：南城市

事業経費：100,000円（県50,000円、市50,000円）

事業内容：○県指定史跡「ミントングスク」の適切な保存と活用を図るため、指定地内の雑草木の除去及び清掃を史跡管理者への委託で実施した。

## (2) 天然記念物

### ①天然記念物再生事業 (国庫補助事業)

事業名：平久保のヤエヤマシタン天然記念物再生 (平久保のヤエヤマシタン)

事業総額：3,282千円 (国2,626千円、県164千円、石垣市492千円)

事業主体：石垣市

事業期間：令和4年4月1日～令和5年3月30日

事業目的：ヤエヤマシタンはマメ科に属する高木種で、石垣市平久保に残っている自生地が我が国における植物分布上北限を示している。近年、シタンヒメヨコバイによる被害が目立ち、放置すると枯死する可能性がある。またシロアリの被害も認められた。そのため害虫駆除と併せて樹勢回復のための土壌改良を行った。

### ②天然記念物再生事業 (国庫補助事業)

事業名：首里金城の大アカギ天然記念物再生 (首里金城の大アカギ)

事業総額：3,399千円 (国2,719千円、県169千円、那覇市511千円)

事業主体：那覇市

事業期間：令和4年7月13日～令和5年1月26日

事業目的：首里金城の大アカギは樹齢200年以上と推定される5本の大木群であり、平成29年度に簡易的な樹勢の診断業務を行ったところ、良好な状態ではないことが判明した。そのため、樹木医の診断のもと樹勢回復を目的とした土壌改良を実施した。

### ③歴史生き生き！史跡等保存活用計画策定事業 (国庫補助事業)

事業名：伊平屋島のウバメガシ群落保存活用計画策定 (伊平屋島のウバメガシ群落)

事業総額：2,729千円 (国2,183千円、伊平屋村546千円)

事業主体：伊平屋村

事業期間：令和4年6月1日～令和5年3月31日

事業目的：令和3年に指定された国指定天然記念物「伊平屋島のウバメガシ群落」の保存活用計画を策定するため、令和3年度の伊平屋島内にある主要なウバメガシ林の調査結果を踏まえ、令和5年度保存活用計画策定のための標準構成を作成した。

### ④天然記念物環境整備事業 (県補助事業)

事業名：宮古馬保存環境整備事業 (宮古馬)

事業総額：3,729千円 (県960千円、宮古島市2,769千円)

事業主体：宮古島市

事業期間：令和4年11月22日～令和5年3月31日

事業目的：沖縄県指定天然記念物「宮古馬」の保存管理のため、柵及び牧場餌場の設置及び管理用道路を整備した。

## 5. 埋蔵文化財

埋蔵文化財は、全国各地の歴史や文化の成り立ちを理解する上で欠くことのできない、国民共有の貴重な歴史的財産である。沖縄県には現時点で約 4,000 箇所が確認されており、旧石器時代から近代に至る時期の貝塚や集落跡、古墓、グスク、さらには水中遺跡や戦争遺跡等、その種別は多岐にわたる。埋蔵文化財は他の文化財同様、文化財保護法による保護対象となっており、その規定により各種手続き、処理が行われる。

令和 4 年度の開発事業計画地域内の「埋蔵文化財の所在の有無」の照会・協議は 4 件あり、うち 1 件は包蔵地内のため当該市町村教育委員会との調整を指示している。

周知の埋蔵文化財包蔵地（以下包蔵地）内での民間工事に伴う 93 条及び公共事業に伴う 94 条の届出は 82 件であった。回答の内訳は、慎重工事 28 件、工事立会 32 件、発掘調査 22 件となっている。また、このうち米軍基地に関連する届出は 9 件あり、うち 6 件は発掘調査の回答とした。また市町村別の内訳では、那覇市 18 件、名護市 16 件、宮古島市 9 件、南城市 8 件、豊見城市 5 件、大宜味村 4 件、宜野湾市・西原町 3 件、糸満市・北中城村・北谷町・中城村 2 件、石垣市・沖縄市・金武町・国頭村・南風原町・本部町・八重瀬町・与那原町 1 件であった。

96 条及び 97 条に係る遺跡発見届及び通知は 4 件である。これに対する措置は、慎重工事 0 件、工事立会 1 件、発掘調査 3 件となった。

102 条に係る埋蔵物の監査及び文化財認定は 54 件であった。

107 条に係る出土文化財の譲与申請は 4 件であった。

92 条第 1 項に係る発掘調査の届出は 2 件であった。

99 条第 1 項に係る発掘調査の報告は 33 件であった。調査目的の内訳は、各種開発に伴うものが 28 件、保存目的の範囲内容確認調査 3 件で、学術研究を目的とした調査は 2 件であった。調査主体者の内訳は、那覇市文化財課 8 件、名護市教育委員会 7 件、沖縄県立埋蔵文化財センター 5 件、宜野湾市教育委員会 4 件、大宜味村教育委員会 3 件、沖縄県立博物館・美術館・北中城村教育委員会 2 件、糸満市教育委員会・沖縄市教育委員会 1 件である。

その他、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所が毎年開催する文化財担当者専門研修については、研修参加は 8 件となった。鉱業法第 24 条の規定に基づく協議が 2 件あった。

沖縄県内における令和 4 年度の埋蔵文化財専門職員数は 98 名であり、平成 20 年土以降ほぼ横ばいの傾向が続く（図 1）。発掘調査件数の推移では、令和 3 年度は令和 2 年度とほぼ同様の勾配で工事件数が増加している。試掘件数は減少した令和 2 年度に比べ大幅に増加し、工事件数とともに平成 20 年度以降の最高値を記録した（図 2）。発掘調査費用の合計は平成 28 年度以降、年土毎に増減を繰り返す傾向が続いており、それが本発掘調査費及び米軍基地関係費とも相関関係があることから、増減の原因は米軍基地調査費に左右されていると考えられる。

試掘・確認調査、保存目的、遺跡整備目的の調査費は平成 20 年以降激しい増減はなく横ばいとなっている。

図1 沖縄県内埋蔵文化財担当職員数の推移（単位：人）

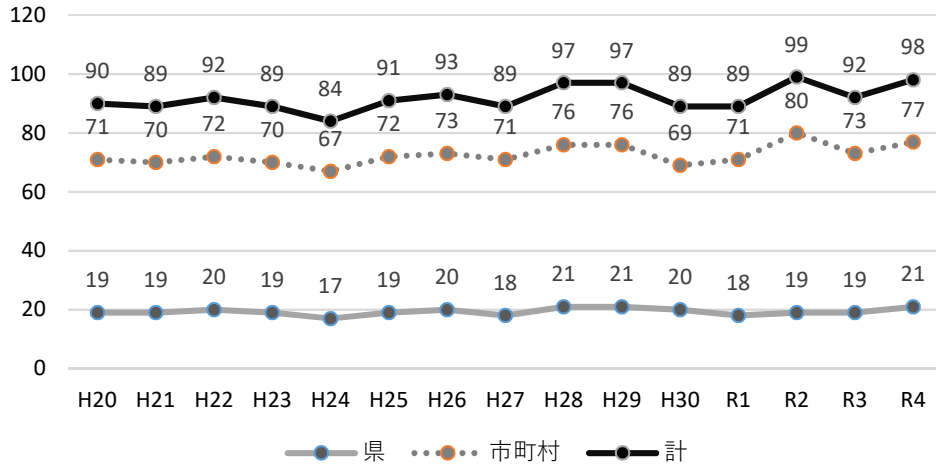


図2 沖縄県内における発掘調査件数の推移（単位：件）

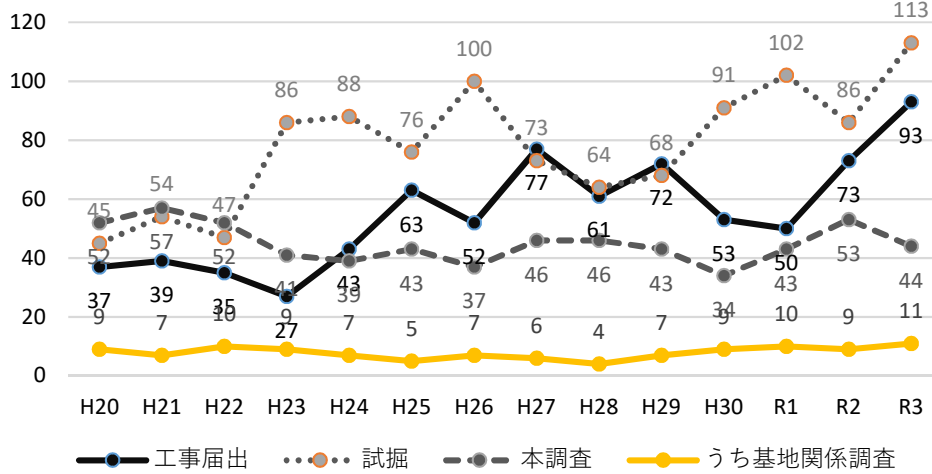
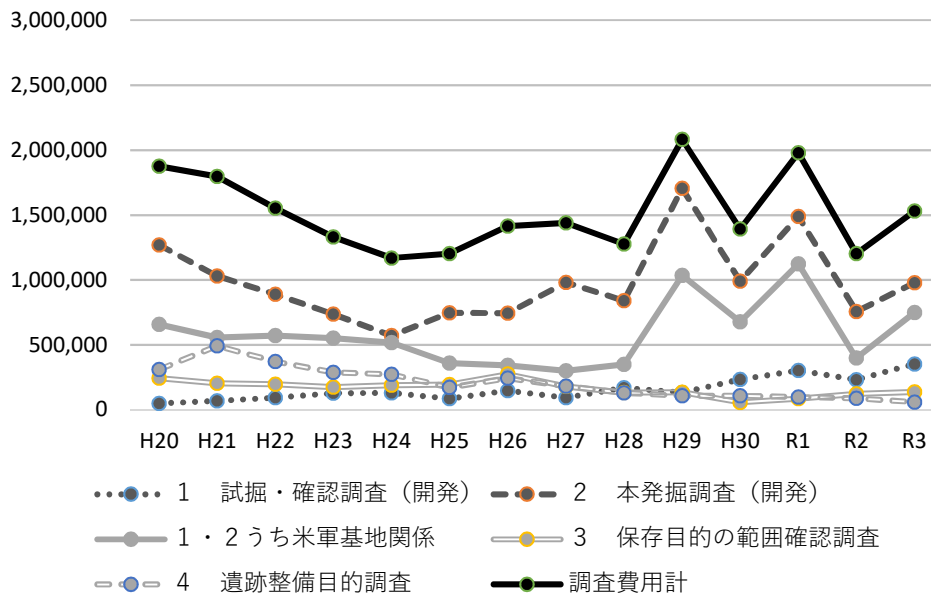


図3 沖縄県県内の発掘調査経費の推移（単位：千円）





## (1) 開発協議（文化財の有無及び取扱いの照会・協議）

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

項目 No.	所在地	開発等の種別	照会者	回答内容（所在文化財）
1	嘉陽海域	海草藻場の生育範囲拡大に係る海草類の生育環境確認調査	沖縄県土木建築部長	嘉陽海岸遺物散布地が隣接
2	本部町字瀬底水納原	ホテル施設、従業員寮	沖縄県企画部県土・跡地利用対策課長	水納貝塚が所在
3	恩納村字富着内武田原	共同住宅の建設	沖縄県企画部県土・跡地利用対策課長	包蔵地外
4	金武町字金武飛留喜田原	店舗の建築	沖縄県企画部県土・跡地利用対策課長	億首川流域古墓群等が隣接

## (2) 文化財保護法第93条及び94条に係る発掘届・通知一覧

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
1	湧田村跡	那覇市	那覇市長	学校	発掘調査
2	新里東元島遺跡	宮古島市	株式会社南西楽園リゾート代表取締役	その他建物（ホテル）	発掘調査
3	長間土川の岩陰墓	宮古島市	沖縄県宮古農林水産振興センター所長	農業基盤整備事業	発掘調査
4	大兼久遺跡	大宜味村	個人	住宅	工事立会
5	第2松原部落内遺物散布地	宮古島市	株式会社竹下コーポレーション代表取締役	住宅	発掘調査
6	伊原集落内遺物散布地	南城市	個人	住宅	慎重工事
7	ナイクブ古墓群	那覇市	那覇市長	その他開発（遺骨確認・収蔵）	工事立会
8	長堂原遺物散布地	豊見城市	個人	住宅	慎重工事
9	大兼久遺跡	大宜味村	個人	住宅	工事立会
10	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事
11	新原第1貝塚、新原第2貝塚、新原第3貝塚	南城市	個人	その他の開発（用地造成）	慎重工事
12	池間皿嶺散布地	宮古島市	個人	宅地造成	発掘調査
13	渡口・和仁屋近世墓群	北中城村	沖縄県中部土木事務所所長	道路	発掘調査
14	嘉陽貝塚	名護市	個人	住宅	慎重工事
15	上田古島遺跡	豊見城市	株式会社善太郎組代表取締役社長	住宅	工事立会
16	大嶺村跡	那覇市	国土交通省大阪航空局長	空港	慎重工事
17	伊良部元島遺跡	宮古島市	株式会社沖電工	その他の開発（通信用工作物）	慎重工事
18	大兼久遺跡	大宜味村	個人	住宅	慎重工事
19	大浦崎収容所跡	名護市	沖縄防衛局長	その他の開発（在沖米軍施設）	発掘調査

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
20	我謝遺物散布地	西原町	個人	住宅	工事立会
21	宜野湾・神山シリガーラ流域 古墓群	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他の開発（格納 庫の補修・整備）	工事立会
22	前原遺跡	北谷町	沖縄防衛局長	その他の建物 （歯科事務施設）	発掘調査
23	佐敷島宜原遺物散布地	南城市	個人	住宅	慎重工事
24	普天間古集落	宜野湾市	宜野湾市長	その他の開発 （交流施設）	発掘調査
25	登野城遺跡	石垣市	有限会社丈エステー ト代表取締役	その他の開発 （共同住宅）	慎重工事
26	谷田遺跡	名護市	株式会社マルオキ物 流代表取締役社長	その他の建物 （倉庫）	工事立会
27	大山前門原第一遺跡	宜野湾市	個人	住宅	発掘調査
28	宮城平田原古墓群	那覇市	南部国道事務所長	道路	発掘調査
29	宮城平田原壕群	那覇市	南部国道事務所長	道路	発掘調査
30	首里旧金城村跡	那覇市	有限会社築良建設代 表世話役	その他の開発 （擁壁工事）	発掘調査
31	喜舎場西原近世墓群	北中城村	沖縄防衛局長	学校	発掘調査
32	新里澤川原遺物散布地	南城市	個人	住宅・その他建物 （店舗）	慎重工事
33	シガイヌカーの壕群	那覇市	沖縄県南部土木事務 所長	その他の開発 （のり面工事）	工事立会
34	当間平原散布地	中城村	沖縄県中部土木事務 所長	その他建物 （地すべり対策）	工事立会
35	首里旧金城村跡	那覇市	株式会社プレサンス 住販代表取締役	その他建物 （マンション）	慎重工事
36	南上原散布地	中城村	個人	住宅	慎重工事
37	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	住宅	工事立会
38	安波茶部遺物散布地	名護市	個人	住宅	慎重工事
39	大兼久遺跡	大宜味村	大宜味村長	その他の開発 （建造物耐震診断）	工事立会
40	上田古島遺跡	豊見城市	個人	住宅	工事立会
41	辺土名兼久遺物散布地	国頭村	個人	住宅	慎重工事
42	与儀橋（新栄橋）	那覇市	沖縄県南部土木事務 所長	道路	発掘調査
43	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事
44	名嘉地古島遺跡	豊見城市	個人	住宅	慎重工事
45	川上遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事
46	翁長原遺物散布地（A地点）	豊見城市	株式会社大成開発代 表取締役	住宅	工事立会
47	越来原遺跡	沖縄市	株式会社結まーる不 動産代表取締役	住宅	工事立会
48	上地ツーガ屋遺物散布地	宮古島市	株式会社日建ハウジ ング代表取締役	住宅	発掘調査

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
49	首里旧大中村跡	那覇市	個人	その他の開発 (共同住宅建築)	発掘調査
50	屋嘉部殿遺跡	南城市	個人	住宅	慎重工事
51	与那覇大代原岩陰墓	宮古島市	東急不動産株式会社 執行役員本部長	その他建物 (ホテル)	発掘調査
52	仲村渠殿遺跡	南城市	個人	住宅	工事立会
53	備瀬貝塚	本部町	個人	住宅	工事立会
54	宇江城グスク、宇江城古島遺跡 (戦跡・塚)	糸満市	沖縄県平和祈念財団	その他の開発 (遺骨収集)	工事立会
55	崎原グスク	那覇市	沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所長	空港	工事立会
56	大堂原遺跡、大堂原の製糖工場跡	金武町	沖縄防衛局長	その他の開発(米軍 基地提供施設)	発掘調査
57	白比川原遺跡	北谷町	沖縄防衛局長	その他の開発(米軍 基地跡地支障除去)	発掘調査
58	大嶺村跡・小禄海軍飛行場跡	那覇市	沖縄県警察本部長	空港	工事立会
59	屋比久グスクおよび周辺遺物 散布地	南城市	個人	住宅	工事立会
60	東辺名グスク(防疫給水部隊 塚)	糸満市	特定非営利活動法人JYMA日本 青年遺骨収集団理事長	その他の開発 (遺骨収集)	工事立会
61	我謝遺跡	西原町	個人	住宅	工事立会
62	前田・経塚近世墓群(首里大名 地区)	那覇市	那覇市長	その他の開発 (市営住宅建設)	慎重工事
63	首里旧大中村跡	那覇市	個人	住宅	工事立会
64	我謝遺跡	西原町	個人	住宅	慎重工事
65	美謝川集落関連遺跡群	名護市	沖縄防衛局長	道路	工事立会
66	大浦崎収容所跡	名護市	沖縄防衛局長	その他の開発 (在沖米軍施設)	発掘調査
67	前田・経塚近世墓群(首里大名 地区)	那覇市	那覇市長	その他の開発 (市営住宅建設)	慎重工事
68	真喜屋阿社義遺物散布地	名護市	個人	住宅	工事立会
69	ヤニバマ遺物散布地	名護市	沖縄防衛局長	その他の建物 (東屋等)	工事立会
70	首里司令部塚(第32軍司令部 塚と周辺遺跡)	那覇市	公立大学法人沖縄県立 芸術大学理事長	道路	慎重工事
71	志堅原遺跡	南城市	個人	住宅	慎重工事
72	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事
73	首里司令部塚(第32軍司令部 塚と周辺遺跡)	那覇市	沖縄県知事	その他の開発 (安全対策工事)	工事立会
74	運玉原古墓群	与那原町	個人	その他の開発 (墓建設)	工事立会
75	大嶺村跡・小禄海軍飛行場跡	那覇市	国土交通省大阪航空 局局長	空港	工事立会
76	屋部前田原貝塚	名護市	株式会社セブン-イレブ ン・沖縄代表取締役社長	その他の建物 (コンビニ)	工事立会
77	新川森古墓群、牛之巻原遺物 散布地A地点	南風原町	株式会社みつわ産業 代表取締役社長	その他の建物 (倉庫兼事務所)	工事立会

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
78	親里元島上方台地遺跡	宮古島市	楽天モバイル株式会社基地局設置統括本部長	その他の建物（携帯電話無線基地局）	慎重工事
79	思原遺跡	名護市	沖縄電力株式会社代表取締役社長	電気	慎重工事
80	大堂原東遺物散布地	名護市	個人	住宅	工事立会
81	与座前原遺跡	八重瀬町	個人	その他の建物（店舗）	慎重工事
82	島尻元島遺跡	宮古島市	島尻自治会長	その他の建物（祭祀施設の建替工事）	発掘調査

### (3) 文化財保護法第96条及び97条に係る遺跡発見届・通知一覧

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

項目 No.	発見地	遺跡名	届出・通知者	原因	措置状況
1	沖縄県那覇市通堂町128番1	西新町（築地町）の井戸	那覇港管理組合 管理者	土木工事	工事立会
2	沖縄県宮古島市平良字西仲宗根531番地	西仲宗根竹原の古墳、西仲宗根竹原の壕	沖縄県知事	県営団地建設	発掘調査
3	沖縄県うるま市石川山城福地原1563-6、1563-108	山城福地原壕群	沖縄県警察本部長	用地造成	発掘調査
4	沖縄県宮古島市城辺字砂川850-12、850-93、850-94	安谷原の古墳群	宮古島市農林水産部 農村整備課長	圃場整備	発掘調査

### (4) 文化財保護法第102条に係る埋蔵物の鑑査及び文化財認定一覧

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	根石グスク周辺遺跡	R3. 11. 5	南城市教育委員会	国土交通省	グスク土器、陶磁器、カムイ焼片、陶質土器、石器、鉄滓、焼土 {3箱}	南城市教育委員会
2	東奥武海底遺跡	R4. 3. 31	沖縄県教育委員会教育長	国土交通省	中国産青磁、中国産白磁、中国産褐釉陶器、くびれ平底土器 {14点}	沖縄県立埋蔵文化財センター
3	ウランダバマ	R4. 3. 31	沖縄県教育委員会教育長	国土交通省	フリント {1点}	沖縄県立埋蔵文化財センター
4	真謝沖海底遺跡	R4. 3. 31	沖縄県教育委員会教育長	農林水産省	船体の一部 {1点}	沖縄県立埋蔵文化財センター
5	レッドビーチ沖 栈橋遺構	R4. 3. 31	沖縄県教育委員会教育長	国土交通省	木杭の一部 {1点}	沖縄県立埋蔵文化財センター
6	高田海岸沖海底遺跡	R4. 3. 31	沖縄県教育委員会教育長	国土交通省	中国産青花、中国産白磁、中国産陶器 {14点}	沖縄県立埋蔵文化財センター
7	石西礁湖海底遺跡郡第3地点	R4. 3. 31	沖縄県教育委員会教育長	国土交通省	船体の一部、沖縄産施釉陶器 {3点}	沖縄県立埋蔵文化財センター
8	(場所) 沖縄県島尻郡与那原町字与那原1316番地他	R4. 2. 10	与那原町教育委員会	与那原町長	近代遺物 {2箱}	与那原町教育委員会
9	首里高等学校内中城御殿跡、大美御殿跡、首里旧真和志村跡	R4. 4. 28	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	土器、陶磁器、獣魚骨等 {26箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
10	根謝銘城跡	R4. 3. 18	大宜味村教育委員会	大宜味村長	青磁、陶磁器、陶器、土器、貝類、獣魚骨、鉄製品、焼土等 {1箱}	大宜味村教育委員会
11	浦添城跡	R4. 3. 29	浦添市教育委員会	浦添市長	陶磁器、瓦、土器、動物遺体等 {2箱}	浦添市教育委員会
12	糸数城跡	R4. 3. 4	南城市教育委員会	南城市長	陶磁器等 {10点}	南城市教育委員会
13	知念城跡	R4. 3. 4	南城市教育委員会	南城市長	瓦破片・陶磁器等 {8箱}	南城市教育委員会
14	大浦崎収容所跡	R4. 1. 31	名護市教育委員会	沖縄防衛局長	陶磁器、石器、木製遺品、瓦 {1箱}	名護市教育委員会
15	墨屋原浜崎遺跡	R4. 3. 11	名護市教育委員会	株式会社屋我ビーチセンター	土器、陶磁器、瓦、石器、貝 {1箱}	名護市教育委員会
16	(場所) 沖縄県島尻郡久米島町字兼城金城7-1	R4. 3. 17	琉球大学	個人	陶磁器、瓦 {1箱}	琉球大学
17	中城城跡・中城ハンタ道・伊舎堂坂	R4. 3. 31	中城村教育委員会	中城村長	外国産陶磁器、国内産陶磁器、鉄製品、獣骨、貝殻遺骸 {10箱}	中城村教育委員会
18	(場所) 沖縄県糸満市字真栄里地内	R4. 3. 22	糸満市教育委員会	沖縄県知事	近世陶磁器等 {1箱}	糸満市教育委員会
19	真栄里兼久原遺跡	R4. 3. 31	糸満市教育委員会	沖縄県知事	土器、陶磁器、自然遺物等 {1箱}	糸満市教育委員会
20	喜友名ナヌカ古湧泉群	R4. 4. 25	宜野湾市教育委員会	宜野湾市長	瓦、陶磁器、金属製品、貝等 {1箱}	宜野湾市教育委員会
21	山田城跡	R4. 3. 31	恩納村教育委員会	恩納村長	土器、陶磁器類、石器、石 {1箱}	恩納村教育委員会
22	喜舎場西原近世墓群、安谷屋儀間原近世墓群、安谷屋古馬上原近世墓群、瑞慶覧東後原近世墓群D地区	R4. 3. 31	北中城村教育委員会	沖縄防衛局長	厨子甕、陶磁器、古銭等 {38箱}	北中城村教育委員会
23	喜舎場西原近世墓群	R4. 1. 31	北中城村教育委員会	沖縄防衛局長	陶磁器、厨子甕等 {7箱}	北中城村教育委員会
24	護岸の銃座	R4. 3. 25	うるま市教育委員会	国土交通省	陶磁器類、鉄製品 {1箱}	うるま市教育委員会
25	普天満宮洞穴遺跡	R4. 8. 18	沖縄国際大学	普天満宮宮司	土器、石器、貝製品、陶磁器、貝類遺体、脊椎動物遺体、炭化物等 {6箱}	沖縄国際大学
26	松崎馬場跡	R4. 9. 30	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	陶磁器・瓦等 {4箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
27	野嵩スディバナピラ石畳道	R4. 9. 21	宜野湾市教育委員会	宜野湾市長	石畳、沖縄産陶磁器、本土産磁器、瓦等 {4箱}	宜野湾市教育委員会
28	宮城平原原遺跡	R4. 11. 30	沖縄県教育委員会教育長	南部国道事務所長	陶磁器、瓦、獣骨、貝等 {18箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
29	今帰仁城跡	R4. 3. 30	今帰仁村教育委員会	今帰仁村長	陶磁器片、ガラス製ビーズ、古銭、装飾品、自然遺物 {4箱}	今帰仁村教育委員会
30	安和与那川原遺跡	R4. 10. 28	名護市教育委員会	個人	土器、石器、貝 {3箱}	名護市教育委員会
31	大山前門原第一遺跡	R4. 10. 25	宜野湾市教育委員会	個人	本土産磁器、沖縄産施釉陶器、沖縄産無釉陶器瓦、青磁、獣骨、貝等 {2箱}	宜野湾市教育委員会
32	大山岳之佐久原第一遺跡、伊佐上原第一古墓群、伊佐上原南遺跡	R5. 2. 7	沖縄県教育委員会教育長	沖縄防衛局長	土器、石器、陶磁器、人骨等 {2箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
33	屋嘉部殿遺跡	R4. 12. 5	南城市教育委員会	個人	沖縄産陶器 {2点}	南城市教育委員会
34	仲村渠殿遺跡	R4. 12. 22	南城市教育委員会	個人	染付、自然遺物(貝類) {4点}	南城市教育委員会
35	真志喜森川原第一遺跡	R4. 12. 26	宜野湾市教育委員会	株式会社ハウスドゥ・ジャパン	土器、輸入磁器、沖縄産陶器、瓦等 {1箱}	宜野湾市教育委員会
36	(場所) 沖縄県南城市玉城字百名709番地1他23筆	R5. 1. 20	南城市教育委員会	サザン・リーフ・ディベロップメント有限公司	沖縄産陶器、近世磁器 {15点}	南城市教育委員会
37	(場所) 沖縄県島尻郡久米島町字兼城金城7-1	R4. 12. 28	琉球大学	個人	陶磁器 {1箱}	琉球大学
38	(場所) 沖縄県南城市玉城字仲村渠733番1	R5. 2. 24	南城市教育委員会	個人	青磁、緑釉陶器、獣骨、瓦、褐釉陶器、白磁、染付 {7点}	南城市教育委員会
39	根謝銘城跡	R4. 12. 23	大宜味村教育委員会	大宜味村長、謝名城区長、個人	土器、陶器、磁器、石器、獣骨、貝、銭貨、鉄製品 {1箱}	大宜味村教育委員会
40	喜友名下原第一遺跡	R5. 2. 10	宜野湾市教育委員会	宜野湾市長	グスク土器、カムイヤキ、白磁、青磁、染付、沖縄産陶磁器、本土産磁器、石器、金属製品 {11箱}	宜野湾市教育委員会
41	喜友名山川原第三遺跡	R5. 2. 10	宜野湾市教育委員会	宜野湾市長	グスク土器、カムイヤキ、白磁、青磁、染付、沖縄産陶磁器、本土産磁器、石器、金属製品 {2箱}	宜野湾市教育委員会
42	喜友名西原遺跡	R5. 2. 10	宜野湾市教育委員会	宜野湾市長	グスク土器、カムイヤキ、白磁、青磁、染付、沖縄産陶磁器、本土産磁器、石器、金属製品 {2箱}	宜野湾市教育委員会
43	喜友名山川原丘陵古墓群	R5. 2. 10	宜野湾市教育委員会	宜野湾市長	カムイヤキ、青磁、染付、沖縄産陶磁器、本土産磁器、石器、金属製品、厨子甕等 {2箱、土囊10袋}	宜野湾市教育委員会
44	喜友名貝塚	R5. 1. 31	宜野湾市教育委員会	宜野湾市長	青磁、沖縄産陶器、本土産磁器、土器、石器、骨製品、貝製品、獣骨、魚骨、貝等 {3箱}	宜野湾市教育委員会
45	普天間古集落、普天間旧道跡	R5. 2. 7	宜野湾市教育委員会	宜野湾市長、個人	先史土器、青磁、瓦、沖縄産陶磁器、本土産磁器 {3箱、土囊11袋}	宜野湾市教育委員会
46	国場前原遺跡	R4. 6. 14	那覇市教育委員会教育長	国場自治会長他2名	中国産磁器、土器等 {8箱}	那覇市教育委員会
47	首里久場川壕群	H21. 4. 30	那覇市教育委員会教育長	那覇市長	認識票、腕時計、銃口蓋、ボタン、電球、乾電池、点火プラグ等 {26箱}	那覇市教育委員会
48	西村跡	R4. 4. 28	那覇市教育委員会教育長	三菱地所株式会社	中国産青磁、白磁、褐釉陶器、青花、沖縄産陶器、明朝系灰色瓦等 {59箱}	那覇市教育委員会
49	宮城平田原古墓群	R5. 1. 30	那覇市教育委員会教育長	南部国道事務所	厨子甕(蔵骨器)の破片等 {25箱}	那覇市教育委員会
50	宮城平田原壕群	R5. 1. 30	那覇市教育委員会教育長	南部国道事務所	日本産磁器、沖縄産陶器等 {24箱}	那覇市教育委員会
51	湧田村跡	R4. 10. 31	那覇市教育委員会教育長	那覇市長	中国産磁器、本土産陶磁器、沖縄産陶磁器等 {59箱}	那覇市教育委員会
52	(仮称) 当蔵村跡	R5. 3. 16	那覇市教育委員会教育長	沖縄県南部土木事務所	瓦片、陶磁器片、獣骨等 {1箱}	那覇市教育委員会
53	大嶺村跡・小禄海軍飛行場跡	R5. 2. 8	那覇市教育委員会教育長	大阪航空局	沖縄産陶器、瓦、本土産近代磁器、ガラス、土器等 {1箱}	那覇市教育委員会
54	首里旧大中村跡	R5. 3. 10	那覇市教育委員会教育長	個人	中国産磁器、本土産陶磁器、沖縄産陶磁器等 {10箱}	那覇市教育委員会

(5) 文化財保護法第107条に係る出土文化財譲与一覧

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	瑞慶覧東後原近世墓群	R3. 4. 15	北中城村教育委員会教育長	沖縄防衛局長	厨子甕、陶磁器、石器等 {厨子甕36点、29箱}	北中城村教育委員会教育長
2	中城城跡、中城ハンタ道・伊舎堂坂	R3. 5. 10 ～ R4. 3. 31	中城村教育委員会教育長	中城村長	外国産陶磁器、国内産陶磁器、土器片、石製品、鉄製品、獣骨、貝殻遺骸 {10箱}	中城村教育委員会教育長
3	山田城跡	S61. 4. 1 ～ S63. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	沖縄県知事	土器、陶磁器類、鉄製品、自然遺物 {45箱}	恩納村教育委員会教育長
4	沖縄県中頭郡北中城村瑞慶覧地内	R3. 4. 15	北中城村教育委員会教育長	沖縄防衛局長	陶磁器 {8点}	北中城村教育委員会教育長

(6) 文化財保護法第92条第1項に係る発掘調査の届出一覧

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在市町村	調査主体者・担当者	調査目的	遺跡の主な時期・性格
1	普天満宮洞穴遺跡	宜野湾市	沖縄国際大学総合文化学部 社会文化学科 考古学専任 教員 新里 貴之	学術研究	縄文、グスク 御嶽等
2	(場所) 久米島町字兼城金城7-1	久米島町	国立大学法人琉球大学国際 地域創造学部 講師 主税 英徳	学術研究	不明、不明

(7) 文化財保護法第99条第1項に基づく発掘調査の報告一覧

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な時期・性格
1	首里高等学校内中城御殿跡、大美御殿跡、首里真和志村跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	玉城綾・奥平大貴	学校	グスク・近世 集落跡・グスク等
2	国場前原遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	天久瑞香	その他建物 (複合ビル)	グスク 集落跡
3	大浦崎収容所跡	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	その他開発 (基地施設)	近現代 戦争遺跡
4	西村跡	那覇市	那覇市教育委員会	玉城安明	その他建物 (ホテル)	グスク・近世、 集落跡
5	喜友名下原第一遺跡、喜友名山川原第三遺跡、喜友名西原遺跡、喜友名山川原丘陵古墓群	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村毅	その他開発 (不発弾探査)	縄文～グスク、 近世・近代 集落跡、墓
6	大兼久遺跡	大宜味村	大宜味村教育委員会	寄合龍己	住宅	縄文～平安 散布地
7	松崎馬場跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	羽方誠、城間宏次郎	保存目的の範囲内容確認調査	グスク、近世・ 近代、道路跡等
8	大工廻八所集落跡A地点、B地点	沖縄市	沖縄県立埋蔵文化財センター	亀島慎吾、屋比久大翔	その他開発 (米軍施設)	近代 集落跡
9	大兼久遺跡	大宜味村	大宜味村教育委員会	寄合龍己	住宅	縄文～平安、 散布地
10	湧田村跡	那覇市	那覇市教育委員会	天久瑞香	学校	近世・近代 集落跡

項目 No.	遺 跡 名	所在市町村	調 査 主 体	調査担当者	調 査 目 的	遺跡の主な 時期・性格
11	野嵩スディバナ ピラ石畳道	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	伊藤圭	保存目的の範囲内容確認調査	近世・近代 道路跡等
12	渡口・和仁屋近 世墓群	北中城村	北中城村教育委員会	小橋川剛	道路	近世 墓
13	宮城平田原遺跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	宮城淳一、 馬上理恵子	道路	近世・近代 集落跡
14	普天間古集落	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	末吉飛鳥	その他開発（交流施設）	グスク・近世・ 近代、集落跡
15	宮城平田原古墓 群	那覇市	那覇市教育委員会	山道峻	道路	近世・近代 墓
16	宮城平田原壕群	那覇市	那覇市教育委員会	山道峻	道路	近代 戦争遺跡
17	大山前門原第一 遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	金城りお	住宅	古墳～近代 集落跡・御嶽等
18	安波茶部遺物散 布地	名護市	名護市教育委員会	横手伸太郎	住宅	近世 散布地
19	大山岳之佐久原第 一遺跡、伊佐上原 第一古墓群、伊佐 上原南遺跡	宜野湾市	沖縄県立埋蔵文化財センター	知念隆博、 羽方誠、廣 岡凌	その他開発（跡地利用）	縄文～グスク、 近世・近代 集落跡、墓
20	川上遺跡	名護市	名護市教育委員会	真栄田義人	住宅	グスク 集落跡
21	大浦崎収容所跡	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	その他開発（在日米軍施設）	近現代 戦争遺跡
22	首里当蔵旧水路	那覇市	那覇市教育委員会	吉田健太	道路	近代 水路跡
23	根謝銘城跡	大宜味村	大宜味村教育委員会	寄合龍己	保存目的の範囲内容確認調査	グスク グスク等
24	真栄里兼久原遺 跡、川田原貝塚	糸満市	糸満市教育委員会	外間裕一	道路・区画整理	弥生～平安・近 世、貝塚・生産 遺跡
25	喜舎場西原近世 墓群	北中城村	北中城村教育委員会	小橋川剛	その他開発（米軍施設）	近世 墓
26	サキタリ洞遺跡	南城市	沖縄県立博物館・美術館	澤浦亮平	学術研究	旧石器、縄文 散布地
27	墨屋原浜崎遺跡	名護市	名護市教育委員会	横手伸太郎	住宅	縄文～グスク 集落跡
28	大嶺村跡・小禄 海軍飛行場跡	那覇市	那覇市教育委員会	仲宗根啓	空港	弥生～平安、近 世・近代、集落 跡、戦争遺跡
29	首里旧大中村跡	那覇市	那覇市教育委員会	天久瑞香	住宅	近世・近代 集落跡
30	屋部貝塚	名護市	名護市教育委員会	真栄田義人	その他建物（共同住宅）	弥生～平安・グ スク、貝塚
31	下地原洞穴遺跡	久米島	沖縄県立博物館・美術館	澤浦亮平	学術研究	旧石器、グス ク、散布地
32	溝原貝塚	名護市	名護市教育委員会	横手伸太郎	住宅	弥生～平安・グ スク・近世、貝 塚
33	越来原遺跡	沖縄市	沖縄市教育委員会	比嘉二規	住宅	グスク 集落跡



(8) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 文化財担当者専門研修参加者一覧

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

項目 No.	研 修 名	期 間	参 加 者	所 属
1	文化財担当者専門研修 「建造物保存活用計画策定課程」	令和4年7月4日～ 7月8日	照屋 凜	北大東村教育委員会
2	文化財担当者専門研修 「文化財デジタルアーカイブ課程」	令和4年7月25日～ 7月29日	宮城 智浩	名護市教育委員会
3	文化財担当者専門研修 「文化財デジタルアーカイブ課程」	令和4年7月25日～ 7月29日	大堀 皓平	沖縄県教育委員会
4	文化財担当者専門研修 「遺跡調査技術課程」	令和4年9月12日～ 9月16日	佐久本 晴生	うるま市教育委員会
5	文化財担当者専門研修 「層序学・堆積学・土壌学基礎課程」	令和4年9月26日～ 9月30日	奥平 大貴	沖縄県立埋蔵文化財センター
6	文化財担当者専門研修 「保存科学（遺構・石造文化財）課程」	令和4年10月17日～ 10月21日	江上 輝	那覇市
7	文化財担当者専門研修 「報告書編集基礎課程」	令和4年12月5日～ 12月9日	我喜屋 優真	浦添市教育委員会
8	文化財担当者専門研修 「文化財三次元計測入門課程」	令和5年1月17日～ 1月19日	中村 圭吾	南城市教育委員会

(9) 鉱業権法第24条の規定に基づく協議

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

項目 No.	出 願 地	出 願 番 号	鉱種名	出願 種類	回 答 内 容	
					所在埋蔵文化財	所在天然記念物等
1	石垣市	2 沖経出採般第1号	石灰岩	採掘	周知の埋蔵文化財	地域を定めず指定された天然記念物
2	石垣市	2 沖経出採般第2号	石灰岩	採掘	該当なし	地域を定めず指定された天然記念物

## 6. 円覚寺跡保存整備事業（文化庁国庫補助事業）

### （1）事業の概要

円覚寺は、尚真王が父尚円王の御霊を祀るために1492年に建立した臨済宗の総本山であり、第二尚氏王代の菩提寺でもあった。

琉球第一の巨刹で、総門をはじめ、三門、放生池、仏殿、龍淵殿、鐘楼、獅子窟等が昭和8年1月23日に国宝に指定されたが、去る沖縄戦において破壊され、国宝指定は解除された。戦後、総門や放生橋等の一部が復元整備され、公開されているが、それ以外の建造物群等は旧琉球大学運動場整備に伴い、客土による遺構の保護が行われていた。

本史跡は、県営公園の範囲に含まれており、隣接する首里城跡や円覚寺総門、龍潭、円鑑池等の史跡の整備及び公園整備事業（国、県土木建築部）との整合性を図り、その保全と活用・公開等を図るため、国の補助を受けて保存整備事業を実施している。

当該事業は、平成9年度から平成13年度までの5ヶ年計画で整備に先駆けて遺構調査が実施され、調査並びに聞き取り調査の成果に基づいて、平成14年度より境内を取り巻く石牆（土留め石積み）の復元整備を実施し、平成26年度から三門復元に取組んでいる。平成28年度から令和元年度までに三門の復元に伴う実施設計を完成させた。令和2年度は、三門の石階段の修復工や遺構保護工事、伐採工、工事用道路の工事を実施した。

### （2）令和4年度の整備事業の内容

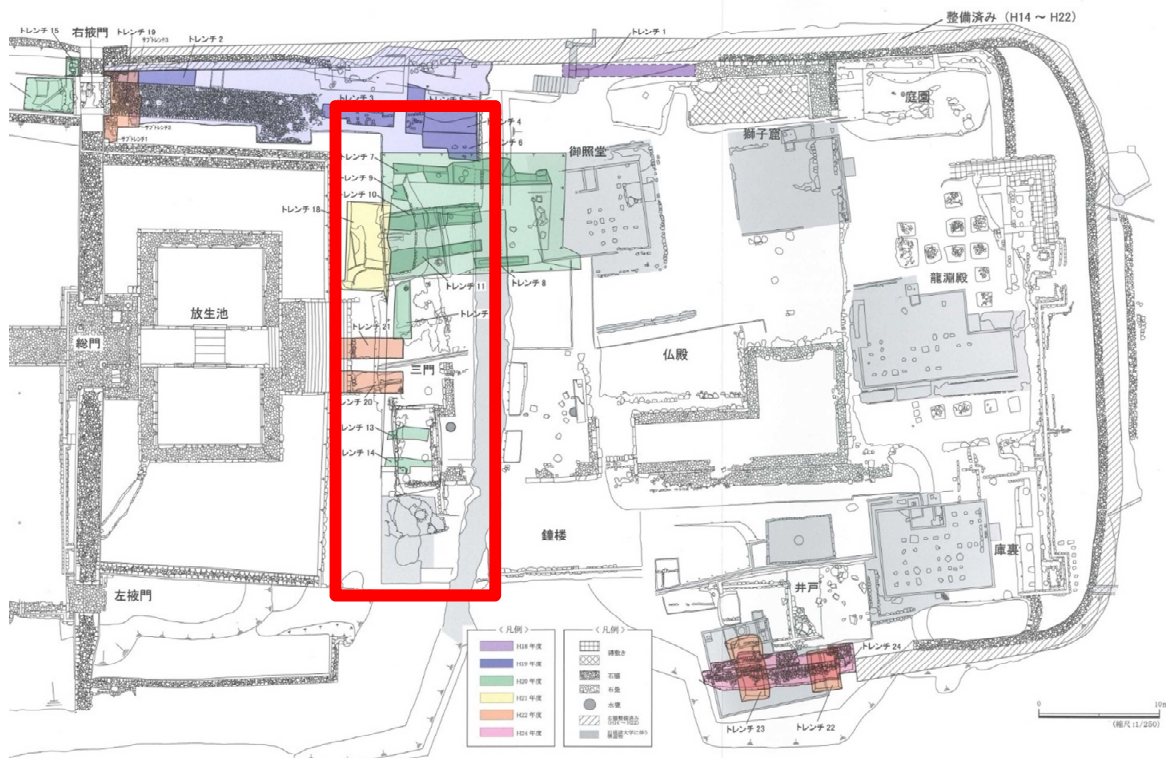
令和4年度は、これまでに整備委員会において三門の設計を実施しており、その成果を基に三門の復元に際し、三門の本体の1階の32箇所の斗栱の製作並びに、木鼻、実肘木の彫刻を行った。また、木造の建造物である三門の復元に際し、木材を調達し今年度の工事を完了した。

### （3）円覚寺跡保存整備事業の事業費並びに事業箇所の推移

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・監理）
平成14年度	・石牆（土留め石積み） 修復工事（97.1㎡） ・工事用道路の設置	35,000	27,000	工事経費 28,822.5	委託料 ・設計 5,617.40 ・監理 4,649.40 968
平成15年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（48.1㎡）	15,000	12,000	工事経費 9,681	委託料 ・設計 4,935 ・監理 3,360 1,575
平成16年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（28.1㎡） ・工事用道路の設置 ・既存石積みの解体	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料 ・設計 5,355 ・監理 3,360 ・測量 1,291.50 703.5
平成17年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（43.0㎡）	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料 ・設計 5,281.70 ・監理 2,324.70 ・測量 2,259.60 697.4
平成18年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（42.0㎡）	13,500	10,800	工事経費 8,999.55	委託料 ・設計 3,525.00 ・監理 1,079.40 2,445.60
平成19年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（30.0㎡）	14,986	11,988	工事経費 7,001.40	委託料 ・設計 3,865.00 ・監理 1,575.00 ・測量 1,786.00 504
平成20年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（29.4㎡）	14,407	11,525	工事経費 6,990.90	委託料 ・設計 3,705.00 ・監理 1,680.00 ・化学測定 1,694.70 330.3
平成21年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（27.0㎡）	14,340	11,472	工事経費 6,770.40	委託料 ・設計 3,771.00 ・監理 1,785.00 ・伐採 1,470.00 516
平成22年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（44.5㎡）	17,677	14,141	工事経費 9,921.45	委託料 ・設計 3,768.45 ・監理 1,732.50 ・年代測定 1,695.75 340.2

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・監理）
平成23年度	・三門地区地耐力調査	5,000	4,000	工事経費 0	委託料 4,730.668 ・地耐力調査 4,730.668
平成24年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（17.5㎡）	14,442	14,068	工事経費 8,998	委託料 3,769.00 ・設計 1,832.00 ・監理 1,937.00
平成25年度	・石牆（土留め石積み）	17,587	14,068	工事経費 4,042.5	委託料 2,702.80 ・設計 1,570.80 ・監理 1,132.00
平成26年度	・三門復元基本設計	9,185	0	工事経費 0	委託料 8,640.00 ・設計 8,640.00
平成27年度	・三門復元基本設計	1,056	844	工事経費 0	委託料 712.80 ・測量 712.80
平成28年度	・三門復元実施設計 ・三門遺構調査	18,310	14,646	工事経費 0	委託料 13,359.60 ・実施設計 12,852.00 ・磁気探査 507.60
平成29年度	・三門復元実施設計 ・遺構保護に伴う盛土造成	9,964	7,971	工事経費 0	委託料 5,724.00 ・実施設計 5,724.00
平成30年度	・三門復元実施設計 ・ボーリング調査	13,844	11,075	工事経費 0	委託料 13,165.20 ・実施設計 13,165.20
令和元年度	・三門復元実施設計 ・琉球政府設置標柱撤去	27,938	22,350	工事経費 0	委託料 23,540.00 ・実施設計 23,320.00 ・標柱撤去 220.00
令和2年度	・石階段修復工 ・遺構保護工（三門・境内）	26,653	21,322	工事経費 21,670	委託料 3,960.00 ・監理 3,960.00
令和3年度	・コンクリート基礎工 ・石材及び木材購入等	106,454	85,163	工事経費 102,703.6	委託料 3,716.299 ・監理 3,716.299
令和4年度	・三門一階の斗栱の加工 ・木材購入等	85,547	69,237	83,644	委託料 2,849.000 ・監理 2,849.000

令和4年度 円覚寺跡保存整備事業



     ……令和4年度整備箇所（三門復元整備工事箇所）

## 7. 新たに国の指定になった文化財

### (1) 記念物の追加指定

#### ①北谷グスク

種 別：史跡

既 指 定 地：沖縄県中頭郡北谷町字大村城原3 3 2番外 44筆

追 加 指 定 地：沖縄県中頭郡北谷町字大村城原3 6 1番外 6 筆

既 指 定 面 積：32, 133. 22㎡

追 加 指 定 面 積：16, 049. 40㎡

指 定 面 積 総 合 計：48, 182. 62㎡

所 有 者：個人等

指定をする理由：北谷城跡は、本島中部の西海岸、北谷町に所在する東西約500m、南北約150m、標高約44mを最高所とする舌状丘陵に築かれた城(グスク)跡である。13世紀後半から16世紀前半にかけて、中山の拠点にもなっていたグスクで、かつては麓まで海が迫り、防衛と交易に適した立地であったと想定されている。

現時点で城の造営に関する明確な記録はなく、金満按司や大川按司、谷茶按司の三系統の興亡があったとの伝承が残っている。城跡は丘陵中央の最高所に位置する一の曲輪をはじめ、5つの曲輪と2つの平場からなり、各曲輪は主に琉球石灰岩を用いた切石積みや野面積みの城壁で囲まれ、石垣がない場所は切岸となっている。

北谷城跡は自然の地形を巧みに取り込みながら堅牢に築かれ、沖縄本島内のグスクが集約されるなか、中山における北方の要として琉球国の成立後まで存続し、その成立過程の一端を解明できる拠点グスクとして貴重である。

今回、一の曲輪や四の曲輪、五の曲輪の一部を追加指定し、保護の万全を図るものである。

官 報 告 示：令和4年11月10日付け文部科学省告示第144号



北谷城跡全景



石垣の根石（一の曲輪東壁）

## 8. 指定文化財管理

### (1) 国指定文化財管理事業

#### ① 事業目的

文化財保護法の規定に基づき指定された重要文化財及び名勝等の維持管理の万全を期する。

#### ② 事業内容

##### 1) 防災設備保守点検等

指定文化財である建物等に設置した自動火災報知設備、消火設備など及びこれらに準ずる防災の保守点検等

##### 2) 小修理

指定文化財である建物等の維持管理のための小修理

##### 3) 名勝等庭園の荒廃防止及び民家等の環境整備

ア、名勝等に指定された庭園の適正な環境を維持するための除草、剪定、整姿等

イ、指定文化財である民家等の屋敷構え等の適正な環境を維持するために行う除草、剪定等

#### ③ 事業主体

沖縄県

#### ④ 事業の実績

(単位:千円)

文化財の種別	名 称	市 町 村	所 有 者	令和4年度実績額	総事業費	備 考
国指定重要文化財	中村家住宅	北中城村	中村国宏	371	24,037	(昭55～令和3)
	上江洲家住宅	久米島町	上江洲智一	482	22,055	(昭55～令和3)
	石垣氏庭園	石垣市	石垣長敏	130	5,909	(昭55～令和3)
	仲村渠樋川	南城市	仲村渠区	156	3,355	(昭55～令和3)
合 計				1,139	55,356	

## 9. 文化財愛護事業

### (1)「私たちの文化財」図画作品募集

5月中旬～9月下旬の期間募集し、小学校1・2学年47点(26校)、小学校3・4学年47点(24校)、小学校5・6学年148点(24校)、中学校120点(14校)、高等学校69点(13校)合計431点(応募校総数72校)の応募があった。

審査会:令和4年10月14日(金)14時～17時 沖縄県立総合教育センター多目的棟講堂

審査員(敬称略):大城 直也 (南城市立玉城小学校校長)

渡久地 伸一(沖縄県立総合教育センター 研究主事)

大城 仁美 (沖縄県教育庁県立学校教育課 指導主事)

島筒 格 (豊見城市立伊良波中学校 教諭)

審査結果は下記のとおりで、表彰式及び入賞作品の展示については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、県民ホールで最優秀賞・優秀賞のみ表彰式を行った。そのため、他の入賞者の表彰は学校での伝達表彰となった。

賞	小学校1・2年の部	小学校3・4年の部	小学校5・6年の部
最優秀賞	大城 実福 (大里南小)	石嶺 真鷲祐 (港川小)	大浜 孝心 (真和志小)
優秀賞	藤原 多笑 (志真志小) 吉永 菜々花(仲里小)	宮城 新太(カトリック小) 城間 礼香(カトリック小)	仲里 祐輝 (嘉数小) 小野 秀診 (カトリック小)
佳作	上里 優護 (高原小) 上江洲 帆里(はごろも小) 謝敷 和佳 (カトリック小) 知念 優奈 (カトリック小)	矢野 公一 (カトリック小) 前田 青杜 (カトリック小) 金城 要 (新城小) 宇根 陽泉 (喜名小)	前田 結音 (カトリック小) 豊島 稜介 (カトリック小) 知名 桃花 (美東小) 伊敷 実花 (新城小)
入選	8名	8名	8名

賞	中学校の部	高等学校の部
最優秀賞	当山 優花 (古堅中)	當眞 大煌 (南風原高)
優秀賞	與那覇みなみ (平良中) 天野 よいひ (琉大附属中)	志良堂 愛莉 (浦添高) 服部 伊織 (小禄高)
佳作	上地 由梨亜 (小禄中) 呉屋 八瑛斗 (浦添中) 新垣 結大 (小禄中) 新垣 綾乃 (宜野湾中)	石嶺 真麗乙 (浦添工業高) 新垣 華 (小禄高) 池田 真優 (開邦高) 屋部 夢琳 (首里高)
入選	8名	8名

### (2)令和4年度文化財保護強調週間ポスター

11月1日～7日の文化財保護強調週間の啓発のため、令和3年度「私たちの文化財」図画作品募集小学校5.6年の部最優秀作品「四ヶ字豊年祭」[大濱 咲蘭さん 石垣小学校6年(受賞当時)]を原画にポスターを作成し、市町村教育委員会、学校、公民館、博物館・文化財関係施設などに配付した。